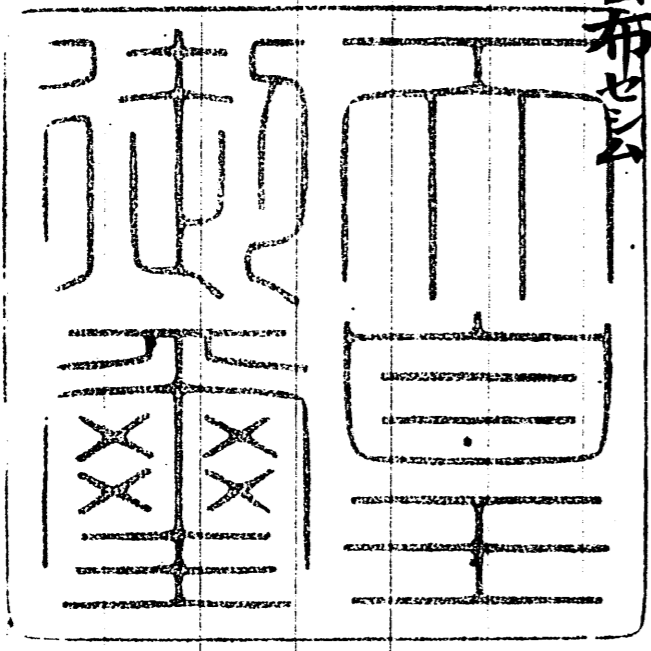


條約第一節

朕樞密顧問諮詢ヲ經テ昭和五年四月二十日ロンドンニ於テ帝
國全權委員ガ亞米利加合衆國英帝國佛蘭西國及伊太利國
全權委員ト共ニ署名調印シタリ千九百三十年ロンドン海軍條約ヲ批
准シ茲ニ之ヲ公布セム

裕仁



月

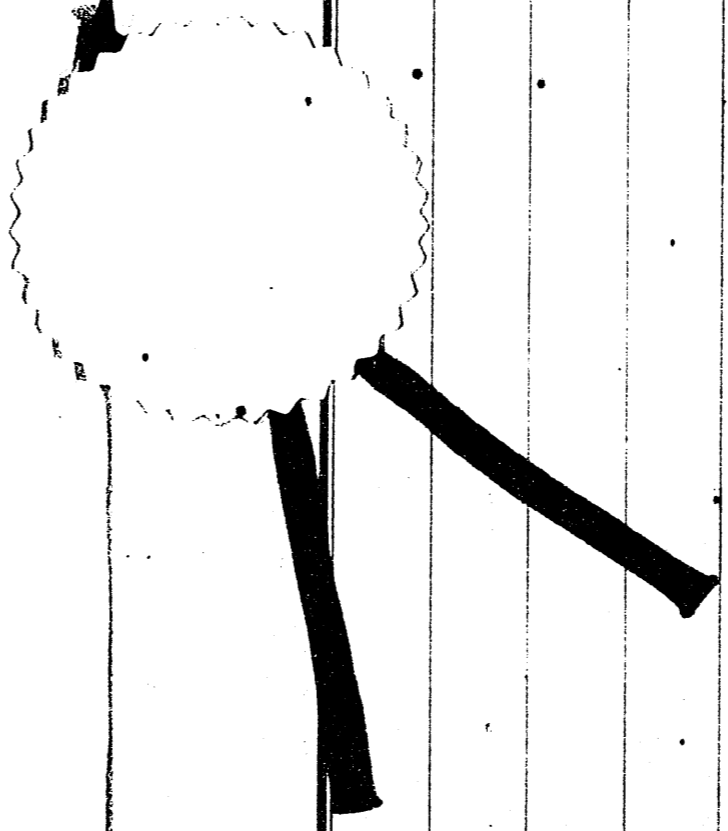
昭和六年一月一日

内閣總理大臣臨時代理

外務大臣男爵幣原喜重郎

外務大臣男爵幣原喜重郎

海軍大臣男爵安保清種



條約第一號

亞米利加合衆國大統領、佛蘭西共和國大統領、「グレート、ブリテン」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下、伊太利國皇帝陛下並ニ日本國皇帝陛下ハ

競争的軍備ニ常ニ伴フ危険ヲ防止シ且負擔ヲ軽減センコトヲ希望シ並ニ

「フシントン」海軍會議ニ依リ開始セラレタル事業ヲ進展セシメ且軍備ノ一般的ノ制限及縮少ノ漸進的實現ヲ容易ナラシメンコトヲ希望シ

海軍軍備ノ制限及縮少ニ關スル條約ヲ締結スルコトニ決シ依テ左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

亞米利加合衆國大統領

國務長官「ヘンリ、エル、スティムスン」

英國駐劄大使「チャールズ、ジー、ドーズ」

海軍大臣「チャールズ、フランシス、アダムズ」

「アーカンソー」州選出上院議員「ジョーゼフ、テロ、ロビンソン」

「ペンシルヴェーニア」州選出上院議員「デーヴィッド・エー、リード」

白耳義國駐劄大使「ヒュー、ギブスン」

「メキシコ」國駐劄大使「ドワイト、ダブリュー、モロー」

佛蘭西共和國大統領

内務大臣、内閣議長、下院議員「アンドレ、タルディユ」

外務大臣、下院議員「アリストタイド、ブリアン」

海軍大臣、下院議員「ジャック・ルイ、デュメニル」

殖民大臣、下院議員「フランソア、ビエトリ」

英國駐劄佛蘭西共和國大使「エーメ、ジュー、ド、フルリオ」

「グレート、ブリテン」及「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

「グレート、ブリテン」及「北部」「アイルランド」並ニ國際聯盟ノ各個ノ聯盟國ニ非ザル英帝國ノ一切ノ部分

國庫尙書兼總理大臣、下院議員「ジームズ、ラムジ、マクドナルド」

外務大臣、下院議員「アーサー、ヘンダスン」

海軍大臣、下院議員「アルバート、ヴィクター、アレグザンダー」

印度大臣、下院議員「ウィリアム、ウエヂウッド、ベン」

「カナダ」

國防大臣、「カナダ」樞密顧問官、陸軍大佐「ジームズ、レイトン、ロールストン」

佛蘭西國駐劄「カナダ」特命全權公使、「カナダ」樞密顧問官「フィリップ、ロア」

「オーストラリア」聯邦

貿易及稅關大臣「ジームズ、エドワード、フュントン」

「ニュー、ジージーランド」

「ロンドン」駐在「ニュー、ジージーランド」高級委員「トマス、メーソン、ウィルフォード」

南阿弗利加聯邦

「ロンドン」駐在南阿弗利加聯邦高級委員「チャールズ、シアドア、テイ、ウーター」

「アイルランド」自由國

「ロンドン」駐在「アイルランド」自由國高級委員「ティモシ、アロイシアス、スミディ」

印度

「ロンドン」駐在印度高級委員「サー、アトール、チャンドラ、チャタジ」
伊太利國皇帝陛下

外務大臣、下院議員「デイノ、グランディ」

海軍大臣、上院議員、海軍戦隊少將「ジウゼッペ、シリアンニ」

英國駐劄特命全權大使「アントニオ、キアラモンテ・ボルドナロ」

上院議員、海軍大將、男爵「アルフレド、アクトン」

日本國皇帝陛下

貴族院議員若槻禮次郎

海軍大臣、海軍大將財部彪

英國駐劄特命全權大使松平恒雄

白耳義國駐劄特命全權大使永井松三

右各全權委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之ガ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一編

第一條

締約國ハ千九百二十二年二月六日「ワシントン」ニ於テ相互ノ間ニ署名セラレ且本條約ニ於テ「ワシントン」條約ト稱セララルル海軍軍備制限ニ關スル條約ノ第二章第三節ニ規定セララルル主力艦代換トン數ノ龍骨据附ノ自國ノ權利ヲ千九百三十一年乃至千九百三十六年ノ期間中行使セザルコトヲ約ス

右規定ハ不慮ノ事變ニ依リ亡失シ又ハ破壊セラレタル艦船ノ代換ニ關スル前記條約第二章第三節第一款ハニ掲ゲラルル規定ノ適用ヲ妨グルコトナシ

尤モ佛蘭西國及伊太利國ハ前記條約ノ規定ニ依リ千九百二十七年及千九百二十九年ニ自國ガ起工スルノ權利ヲ與ヘラレタル代換トン數ヲ建造スルコトヲ得

第二條

一 合衆國、「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國並ニ日本國ハ左ノ主力艦ヲ

本條ニ規定セラルル所ニ從ヒ處分スベシ

合衆國

「フロリダ」

「ユタ」

「アーカンソー」又ハ「ワイオミング」

聯合王國

「ペンボ」

「アイアン、デューク」

「マーバラ」

「エンペラー、オヴ、インディア」

「タイガー」

日本國

比叻

(イ) (ロ)ノ規定ヲ留保シ前記艦船ハ「ワシントン」條約第二章第二節二(ハ)ニ依リ専ラ標的ノ用ニ變更

セラレザル限リ左ノ如ク廢棄セラルベシ

合衆國ニ依リ廢棄セラルベキ艦船中ノ一隻及聯合王國ニ依リ廢棄セラルベキ艦船中ノ二隻
ハ本條約ノ實施ノ時ヨリ十二月以内ニ「ワシントン」條約第二章第二節三(ロ)ニ從ヒ戰團任
務ニ適セザルモノト爲サルベシ右艦船ハ右實施ノ時ヨリ二十四月以内ニ右第二節二(イ)又
ハ(ロ)ニ從ヒ確定的ニ廢棄セラルベシ合衆國ニ依リ廢棄セラルベキ艦船中ノ第二隻並ニ聯合
王國ニ依リ廢棄セラルベキ艦船中ノ第三隻及第四隻ニ付テハ右期間ハ本條約ノ實施ノ時ヨ
リ夫々十八月及三十月トス

(ロ) 本條ニ依リ處分セラルベキ艦船中左記ハ練習用ノ爲保有セラルルコトヲ得

合衆國 「アーカンソー」又ハ「ワイオミング」

聯合王國 「アイアン、デューク」

日本國 比叻

右艦船ハ本條約第二編第二附屬書第五款ニ規定セラルル狀態ニ減勢セララルベシ右艦船ヲ要求
セラレタル狀態ニ減勢スルノ作業ハ本條約ノ實施ノ時ヨリ合衆國及聯合王國ニ付テハ十二月
以内ニ又日本國ニ付テハ十八月以内ニ之ヲ開始スベシ右作業ハ前記期間ノ滿了ノ時ヨリ六月

以內ニ完了セラルベシ

八

- 右艦船中ノ何レカニシテ練習用ノ爲保有セラレザルモノハ本條約ノ實施ノ時ヨリ八月以內ニ戰闘任務ニ適セザルモノト爲サレ且三十月以內ニ確定的ニ廢棄セララルベシ
- 二 本條約第一條ニ掲ゲラルル代換トシテ佛蘭西國又ハ伊太利國ガ建造スルコトニ依リ「ワシントン」條約ニ依リ必要ト爲ルコトアルベキ主力艦ノ處分ヲ別トシ「ワシントン」條約第二章第三節第二款ニ掲ゲラルル一切ノ現存主力艦ニシテ處分セラルベキモノト前號ニ於テ指定セラレザルモノハ本條約ノ有効期間中保有セララルコトヲ得
- 三 代換ノ權利ハ代換トシテ起工ノ遅延ニ依リ失ハルコトナク且舊艦ハ代換セララルニ至ル迄ハ「ワシントン」條約第二章第三節第二款ニ依リ廢棄ノ期限ノ到來セル場合ト雖モ保有セララルコトヲ得

第三條

- 一 「ワシントン」條約ノ適用ニ付テハ該條約第二章第四節ニ示サルル航空母艦ノ定義ハ茲ニ左ノ定義ヲ以テ之ニ代フ
- 「航空母艦」ナル用語ハ排水量ノ如何ヲ問ハズ特ニ且專ラ航空機ヲ搭載スルノ目的ヲ以テ

設計セラレ且艦上ニ於テ航空機ノ發着シ得ル構造ヲ有スル一切ノ水上艦船ヲ包含ス

- 二 主力艦、巡洋艦又ハ驅逐艦ニ航空機ノ著艦用又ハ離艦用ノ臺又ハ甲板ヲ裝備スルコトハ右艦船ガ專ラ航空母艦トシテ設計セラレタルカ又ハ改造セラレタルモノニ非ザル限り右ノ如ク裝備セラレタル艦船ヲ航空母艦ノ艦種ニ算入シ又ハ分類スルニ至ラシムルコトナシ
- 三 千九百三十年四月一日ニ現存スル主力艦ニハ航空機著艦用ノ臺又ハ甲板ヲ裝備スルコトヲ得ズ

第四條

- 一 口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ搭載スル基準排水量一萬トン（一萬百六十メートル式トン）又ハ之ニ達セザル航空母艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ若ハ建造セシムルコトヲ得ズ
- 二 一切ノ締約國ニ付本條約ノ實施セララル時ヨリ口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ搭載スル基準排水量一萬トン（一萬百六十メートル式トン）又ハ之ニ達セザル航空母艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造セラルベシ

九

第五條

航空母艦ハ各場合ニ從ヒ「ワシントン」條約第九條若ハ第十條ニ依リ又ハ本條約第四條ニ依リ認めラルルモノニ比シ一層有力ナル砲ヲ搭載スル爲ノ設計及構造ヲ有セザルコトヲ要ス
右第九條及第十條ノ何レノ場所ニ於ケルヲ問ハズ口径六インチ（百五十二ミリメートル）ト掲ゲラルトキハ口径六・二インチ（百五十五ミリメートル）ヲ以テ之ニ代フ

第二編

第六條

- 一 「ワシントン」條約第二章第四節ニ規定セラルル基準排水量ノ決定ニ關スル規則ハ之ヲ各締約國ノ一切ノ水上艦船ニ適用スベシ
- 二 潜水艦ノ基準排水量トハ乗員充實セラレ、機關摺附ケラレ且航海準備（一切ノ武器及彈藥、齊備品、艙裝品、乗員用ノ糧食、各種ノ需品並ニ戰時ニ於テ搭載セラルベキ各種ノ要具ヲ含ム）完成シ唯燃料、潤滑油、清水又ハ「バラスト」用水ハ如何ナル種類ノモノタルヲ問ハズ之ヲ搭載セザル工事成セル艦船（非防水構造内ノ水ヲ含マズ）ノ水上排水量ヲ謂フ
- 三 海軍ノ各戦闘艦船ハ基準状態ニ在ル際ノ該艦船ノ排水量トシテ計測セラルベシ「トン」ナル語ハ「メートル式トン」ナル用語ニ於ケルモノヲ除クノ外二千二百四十ポンド（千十六キログラム）ノトンナリト解セラルベシ

第七條

- 一 基準排水量二千トン（二千三十二メートル式トン）ヲ超ユルカ又ハ口径五・一インチ（百三十ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ有スル潜水艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ若ハ建造セシムルコトヲ得ズ
- 二 尤モ各締約國ハ基準排水量二千八百トン（二千八百四十五メートル式トン）ヲ超エザル潜水艦最大限三隻ヲ保有シ、建造シ又ハ取得スルコトヲ得右潜水艦ハ口径六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超エザル砲ヲ搭載スルコトヲ得右隻數内ニ於テハ佛蘭西國ハ既ニ進水セラレタル口径八インチ（二百三十三ミリメートル）ノ砲ヲ有スル二千八百八十トン（二千九百二十六メートル式トン）ノモノ一隻ヲ保有スルコトヲ得
- 三 締約國ハ千九百三十年四月一日ニ於テ其ノ所有セル基準排水量二千トン（二千三十二メートル

ル式トシテヲ超エザル潜水艦ニシテ口徑五・一インチ(百三十三ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ裝備セルモノヲ保有スルコトヲ得

四 一切ノ締約國ニ付本條約ガ實施セラルル時ヨリ基準排水量二千トン(二千三十二メートル式トン)ヲ超ユルカ又ハ口徑五・一インチ(百三十三ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ有スル潜水艦ハ本條ニ規定セラルル所ヲ除クノ外何レノ締約國ノ法域内ニ於テモ建造セラレザルベシ

第八條

左ノ艦船ハ之ニ對シ制限ヲ附スルコトアルベキ特別ノ協定ヲ留保シ制限ヲ免除セラル

- (イ) 基準排水量六百トン(六百十メートル式トン)以下ノ海軍水上戦闘艦船
- (ロ) 基準排水量六百トン(六百十メートル式トン)ヲ超ユルモ二千トン(二千三十二メートル式トン)ヲ超エザル海軍水上戦闘艦船但シ左ノ特性ノ何レヲモ有セザル場合ニ限ル
 - (一) 口徑六・一インチ(百五十五ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ搭載スルコト
 - (二) 口徑三インチ(七十六ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ四門ヲ超エ搭載スルコト

- (三) 魚雷ヲ發射スル様設計セラレ又ハ裝置セラレタルコト
- (四) 二十ノットヲ超ユル速力ヲ得ル様設計セラレタルコト

(ハ) 特ニ戦闘艦船トシテ建造セラレタルニ非ザル海軍ノ水上艦船ニシテ艦隊要務ノ爲ニ使用セラレ、軍隊輸送船トシテ使用セラレ又ハ戦闘艦船トシテノ用途以外ノ用途ニ使用セララルモノ但シ左ノ特性ノ何レヲモ有セザル場合ニ限ル

- (一) 口徑六・一インチ(百五十五ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ搭載スルコト
- (二) 口徑三インチ(七十六ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ四門ヲ超エ搭載スルコト
- (三) 魚雷ヲ發射スル様設計セラレ又ハ裝置セラレタルコト
- (四) 二十ノットヲ超ユル速力ヲ得ル様設計セラレタルコト
- (五) 装甲板ニ依リ防護セラレタルコト
- (六) 機雷ヲ敷設スル様設計セラレ又ハ裝置セラレタルコト
- (七) 空中ヨリ航空機ノ著艦スル様裝置セラレタルコト
- (八) 中央線上ニ航空機發進裝置一基ヲ又ハ各舷側ニ一基ツツ即チ二基ヲ超エ搭載スルコト
- (九) 航空機ヲ空中ニ發進セシムル何等カノ手段ガ裝置セラレタル場合ニ三機ヲ超ユル航空機

ヲ海上ニ於テ行動セシムル様設計セラレ又ハ改造セラレタルコト

一四

第九條

本第二編第一附屬書ニ掲ゲラルル代換規則ハ航空母艦ヲ除クノ外基準排水量一萬トン（一萬百六十メートル式トン）ヲ超エザル艦船ニ之ヲ適用ス右航空母艦ノ代換ハ「ワシントン」條約ノ規定ニ依リ規律セラル

第十條

締約國ハ主力艦、航空母艦及第八條ニ依リ制限ヲ免除セラレタル艦船以外ノ各艦船ニシテ本條約ノ實施後締約國ニ依リ又ハ締約國ノ爲ニ起工セラレ又ハ竣工セラレタルモノノ起工ノ日及竣工ノ日ノ後夫々一月以内ニ左記細目事項ヲ他ノ各締約國ニ通知スベシ

(イ) 龍骨据附ノ日及左ノ細目

艦船ノ艦種別

トン及メートル式トンニ依ル基準排水量

主要寸法即チ水線全長、水線ニ於ケル又ハ水線下ノ最大幅員

基準排水量ニ於ケル平均吃水

最大備砲ノ口徑

(ロ) 竣工ノ日及右ノ日ニ於ケル當該艦船ニ關スル前記細目

主力艦及航空母艦ニ付爲サルベキ通知ハ「ワシントン」條約ニ依リ規律セラル

第十一條

本條約第二條ノ規定ヲ留保シ本第二編第二附屬書ニ掲ゲラルル處分規則ハ右條約ニ依リ處分セラレベキ一切ノ艦船及第三條ニ定義セララルル航空母艦ニ適用セララルベシ

第十二條

一 本第二編第三附屬書中ノ表ヲ關係締約國間ニ於テ變更スルコトアルベキ一切ノ補足協定ヲ留保シ右表中ニ示サルル特殊艦船ハ保有セララルコトヲ得ベク且其ノトン數ハ制限ヲ附セララルトン數中ニ包含セララルコトナカルベシ

二 右特殊艦船ノ保有ノ目的タル用途ニ充ツル爲建造セラレ、改造セラレ又ハ取得セララル他ノ何レノ艦船モ其ノ特性ニ從ヒ適當ノ戦闘艦船艦種ノトン數中ニ算入セララルベシ但シ右艦船ガ第八條ニ依リ制限ヲ免除セラレタル艦船ノ特性ニ適合スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

三 尤モ日本國ハ千九百三十六年十二月三十一日前ニ機雷敷設艦阿蘇及常磐ヲ新機雷敷設艦ニ變ニ依リ代換スルコトヲ得各新艦船ノ基準排水量ハ五千トン（五千八十メートル式トン）ヲ超ユ

一五

ルコトヲ得ズ右艦船ノ速力ハ二十ノットヲ超ユルコトヲ得ザルベク且該艦船ノ他ノ特性ハ第八條(ロ)ノ規定ニ從フベシ右新艦船ハ特殊艦船ト看做サルベク且其ノトン數ハ何レノ戰闘艦船艦種ノトン數中ニモ算入セラルルコトナカルベシ阿蘇及常磐ハ代艦竣工ノ時ニ於テ本第二編第二附屬書第一款又ハ第二款ニ從ヒ處分セラルベシ

四 淺間、八雲、出雲、磐手及春日ハ球磨級ノ最初ノ艦船ニ依リ代換セラレタルトキハ本第二編第二附屬書第一款又ハ第二款ニ從ヒ處分セラルベシ右球磨級ノ艦船三隻ハ本第二編第二附屬書第五款(ロ)ニ規定セラルル状態ニ減勢セラルベク且練習艦トシテ使用セラルベシ右艦船ノトン數ハ制限ヲ附セラルルトン數中ニ爾後包含セラレザルベシ

第十三條

千九百三十年四月一日前ニ固定練習用施設又ハ「ハルク」トシテ使用セラレタル各種ノ型式ノ現存艦船ハ航海不能ノ状態ニ於テ保有セラルルコトヲ得

第一附屬書

代換規則

第一款

本附屬書第三款及本條約第三編ニ規定セラルル所ヲ除クノ外艦船ハ其ノ「艦齡超過」ト爲ルニ先チ代換セラルルコトヲ得ズ艦船ハ其ノ竣工ノ日後左記年數ガ經過シタルトキハ「艦齡超過」ト爲レルモノト看做サルベシ

- (イ) 基準排水量三千トン(三千四十八メートル式トン)ヲ超ユルモ一萬トン(二萬百六十メートル式トン)ヲ超エザル水上艦船ニ付テハ
 - (一) 千九百二十年一月一日前ニ起工セラレタルトキハ十六年
 - (二) 千九百十九年十二月三十一日後ニ起工セラレタルトキハ二十年
- (ロ) 基準排水量三千トン(三千四十八メートル式トン)ヲ超エザル水上艦船ニ付テハ
 - (一) 千九百二十一年一月一日前ニ起工セラレタルトキハ十二年
 - (二) 千九百二十年十二月三十一日後ニ起工セラレタルトキハ十六年
- (ハ) 潜水艦ニ付テハ十三年

代換トン數ノ龍骨ハ代換セラルベキ艦船ガ「艦齡超過」ト爲ル年ノ三年ノ期間前ニ於テハ据附ケラルルコトヲ得ズ但シ右期間ハ基準排水量三千トン(三千四十八メートル式トン)ヲ超エザル代

換水上艦船ニ付テハ二年ニ短縮セラル

代換ノ權利ハ代換トシテ起工ノ遅延ニ依リ失ハルルコトナシ

第二款

本條約ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外一隻又ハ數隻ノ艦船ニシテ之ガ保有ノ結果當該艦種ニ付許サレタル最大限トシテ數ヲ超過スルニ至ルモノハ代換トシテ竣工又ハ取得ノ時ニ於テ本第二編第二附屬書ニ從ヒ處分セラルベシ

第三款

艦船ハ亡失又ハ不慮ノ事變ニ依リ破壊ノ場合ニ於テハ直ニ代換セラルルコトヲ得

第二附屬書

艦船ノ處分規則

本條約ハ左ノ方法ニ依リ艦船ヲ處分スルコトヲ規定ス

- (一) 廢棄スルコト(沈没セシメ又ハ解體スルコト)
- (二) 艦船ヲ「ハルク」ニ變更スルコト

(三) 艦船ヲ専ラ標的用途ニ變更スルコト

(四) 艦船ヲ専ラ實驗用途ニ爲保有スルコト

(五) 艦船ヲ専ラ練習用途ニ爲保有スルコト

主力艦以外ノ處分セラルベキ何レノ艦船モ當該締約國ノ選擇ニ依リ廢棄セラルルカ又ハ「ハルク」ニ變更セラルルコトヲ得

主力艦以外ノ艦船ニシテ標的用途、實驗用途又ハ練習用途ニ爲保有セラレタルモノハ終局ニ於テハ廢棄セラルルカ又ハ「ハルク」ニ變更セラルベシ

第一款

廢棄セラルベキ艦船

(イ) 代換ノ事由ニ基キ廢棄ニ依リ處分セラルベキ艦船ハ其ノ代艦ノ竣工又ハ其ノ代艦一隻ヲ超ユル場合ニハ該代艦中ノ第一隻ノ竣工ノ日後六月以内ニ戰關任務ニ堪ヘザルモノト爲サルコトヲ要ス但シ右一隻又ハ數隻ノ新艦ノ竣工ガ遅延セラレタル場合ニ於テハ舊艦ヲ戰關任務ニ堪ヘザルモノト爲スノ作業ハ右遅延ニ拘ラズ右一隻ノ新艦又ハ數隻ノ新艦中ノ第一隻ノ龍骨ノ据附ノ日ヨリ四年半以内ニ完了セラルベシ尤モ右一隻ノ新艦又ハ數隻ノ新艦ノ何レカガ基準排水量

三千トン(三千四十八メートル式トシ)ヲ超エザル水上艦船ナル場合ニ於テハ右期間ハ三年半ニ短縮セラル

二〇

- (ロ) 廢棄セラルベキ艦船ハ左ノ諸物件ガ撤去セラレ且陸揚セラレタルカ又ハ艦内ニ於テ破壊セラレタルトキハ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト看做サルベシ
- (一) 一切ノ砲及砲ノ主要部分、射撃指揮所竝ニ一切ノ砲塔ノ旋回部
 - (二) 一切ノ砲塔操作ノ水壓機械又ハ電力機械
 - (三) 一切ノ射撃指揮要具及測距儀
 - (四) 一切ノ彈藥、爆藥、機雷及機雷敷設用軌道
 - (五) 一切ノ魚雷、實用頭部、魚雷發射管及發射管旋回盤用軌道
 - (六) 一切ノ無線電信裝置
 - (七) 一切ノ主要推進機械又ハ之ガ代トシテ裝甲司令塔及一切ノ舷側裝甲板
 - (八) 一切ノ航空機用「クレーン」、「デリック」、昇降機及發進裝置竝ニ一切ノ航空機著艦用若ハ離艦用ノ臺及甲板又ハ此等ノ代トシテ一切ノ主要推進機械
 - (九) 潛水艦ニ付テハ右ノ外一切ノ主要蓄電池、空氣壓搾裝置及「バラスト」、ボンヅ

- (ハ) 廢棄ハ艦船ヲ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト爲スノ作業ノ完了期限ノ到來ノ日ヨリ十二月以内ニ左ノ方法ノ何レカニ依リ確定的ニ實行セラルベシ
- (一) 艦船ヲ永久ニ沈没セシムルコト
 - (二) 艦船ヲ解体スルコト 解体ハ一切ノ機械、汽罐及裝甲板ニ一切ノ甲板、舷側及艦底ノ鐵ノ破壊又ハ撤去ヲ常ニ包含スベシ

第二款

「ハルク」ニ變更セラルベキ艦船

- 「ハルク」ニ變更スルコトニ依リ處分セラルベキ艦船ハ第一款(ロ)(六)、(七)及(八)ヲ除クニ規定セラルル條件ガ充サレ且左記ガ實行セラレタルトキハ確定的ニ處分セラレタルモノト看做サルベシ
- (一) 一切ノ推進軸、推力承、「タービン」減速裝置又ハ推進用主電動機及主機械ノ「タービン」又ハ蒸汽筒ヲ修繕シ得ザル程度ニ損壞スルコト
 - (二) 推進機張出承ヲ撤去スルコト
 - (三) 一切ノ航空機用昇降機ヲ撤去シ且解体スルコト竝ニ一切ノ航空機用「クレーン」、「デリック」

二一

ク」及發進裝置ヲ撤去スルコト
本艦船ハ艦船ヲ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト爲スコトニ關シ第一款ニ於テ規定セラルル所ト同一ノ
期限迄ニ前記状態ト爲サルコトヲ要ス

第三款

標的ノ用ニ變更セラルベキ艦船

(イ) 専ラ標的ノ用ニ變更スルコトニ依リ處分セラルベキ艦船ハ左記物件ガ撤去セラレ且陸揚セラレ
タルカ又ハ艦内ニ於テ使用不能ノモノト爲サレタルトキハ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト看做サル
ベシ

- (一) 一切ノ砲
 - (二) 一切ノ射擊指揮所及射擊指揮要具並ニ主要射擊指揮通信電線
 - (三) 砲架操作又ハ砲塔操作ノ一切ノ機械
 - (四) 一切ノ彈藥、爆藥、機雷、魚雷及魚雷發射管
 - (五) 一切ノ航空設備及附屬物件
- 本艦船ハ艦船ヲ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト爲スコトニ關シ第一款ニ於テ規定セラルル所ト同一

- ノ期限迄ニ前記状態ト爲サルコトヲ要ス
- (ロ) 各締約國ガ「ワシントン」條約ニ依リ既ニ有スル權利以外ニ各締約國ハ専ラ標的ノ用ノ爲左記ノ
何時ニテモ同時ニ保有スルコトヲ許サル
- (一) 三隻ヲ超エザル艦船(巡洋艦又ハ驅逐艦)但シ右三隻中一隻ニ限リ基準排水量三千トン(三
千四百八十メートル式トシ)ヲ超ユルコトヲ得
 - (二) 潜水艦一隻
 - (ハ) 標的ノ用ノ爲艦船ヲ保有シタルトキハ當該締約國ハ之ヲ再ビ戰闘任務用ニ變更セザルコトヲ約
ス

第四款

實驗用ノ爲保有セラルル艦船

- (イ) 専ラ實驗用ニ變更スルコトニ依リ處分セラルベキ艦船ハ本附屬書第三款(イ)ノ規定ニ從ヒ處理
セラルベシ
- (ロ) 一般ノ規則ヲ妨グルコトナク且他ノ締約國ニ適當ノ通告ガ爲サルコトヲ條件トシ本附屬書
第三款(イ)ニ規定セラルル状態トノ相當ノ相違ハ特別ノ實驗用ノ爲必要ナルコトアルベキ範圍内

ニ於テ一時的措置トシテ許サルコトヲ得

右規定ヲ利用スル何レノ締約國モ右相違ノ全細目及右相違ヲ必要トスル期間ヲ提示スルコトヲ要ス

二四

(ハ) 各締約國ハ専ラ實驗用ノ爲左記ヲ何時ニテモ同時ニ保有スルコトヲ許サル

(一) 二隻ヲ超エザル艦船(巡洋艦又ハ驅逐艦)但シ右二隻中一隻ニ限リ基準排水量三千トン(三千四百八十八メートル式トン)ヲ超ユルコトヲ得

(二) 潜水艦一隻

(ニ) 聯合王國ハ實驗用ノ爲ノ必要ナキニ至ル迄主砲及砲架ノ既ニ損壞セラレタル「モニター」艦「ロバート」並ニ水上飛行機母艦「アーク、ロイアル」ヲ其ノ現狀ニ於テ保有スルコトヲ許サル右二隻ノ艦船ヲ保有スルコトハ前記(ハ)ニ依リ許サレタル艦船ノ保有ヲ妨グルモノニ非ズ

(ホ) 實驗用ノ爲艦船ヲ保有シタルトキハ當該締約國ハ之ヲ再ビ戰闘任務用ニ變更セザルコトヲ約ス

第五款

練習用ノ爲保有セララル艦船

(イ) 締約國ガ「ワシントン」條約ニ依リ既ニ有スル權利以外ニ各締約國ハ専ラ練習用ノ爲左ノ艦船ヲ保有スルコトヲ許サル

合衆國 主力艦一隻(「アーカンソー」又ハ「ワイオミング」)

佛蘭西國 水上艦船二隻 内一隻ハ基準排水量三千トン(三千四十八メートル式トン)

ヲ超ユルコトヲ得

聯合王國 主力艦一隻(「アイアン、デューク」)

伊太利國 水上艦船二隻 内一隻ハ基準排水量三千トン(三千四十八メートル式トン)

ヲ超ユルコトヲ得

日本國 主力艦一隻(比叡)及巡洋艦三隻(球磨級)

(ロ) (イ)ノ規定ニ依リ練習用ノ爲保有セララル艦船ハ該艦船ガ處分セララルコトヲ要スル日ヨリ六月以内ニ左ノ如ク處理セララルベシ

一 主力艦

左記ヲ實行スベシ

(一) 主砲、一切ノ砲塔ノ旋回部及砲塔操作機械ノ撤去但シ砲塔三基ハ兵裝ノ儘各艦ニ存置

二五

セラルルコトヲ得

二六

- (二) 艦内ニ残存スル砲ニ射撃訓練ノ爲要スル量ヲ超ユル一切ノ彈藥及爆藥ノ撤去
- (三) 司令塔竝ニ最前部及最後部ノ砲塔間ノ舷側装甲帯ノ撤去
- (四) 一切ノ魚雷發射管ノ撤去又ハ損壞
- (五) 最高速力十八ノットヲ得ルニ要スル數ヲ超ユル一切ノ汽罐ノ撤去又ハ艦内ニ於ケル損壞

二 佛蘭西國、伊太利國及日本國ニ依リ保有セラルル他ノ水上艦船

左記ヲ實行スベシ

- (一) 砲ノ半數ノ撤去但シ主要口徑砲四門ハ各艦船ニ存置セラルルコトヲ得
- (二) 一切ノ魚雷發射管ノ撤去
- (三) 一切ノ航空用設備及附屬物件ノ撤去
- (四) 汽罐ノ半數ノ撤去

(ハ) 關係締約國ハ本款ノ規定ニ依リ保有セラルル艦船ガ戰闘用ノ爲使用セラレザルベキコトヲ約ス

第三附屬書

特殊艦船

合衆國

艦船ノ名及型式

艦船ノ名及型式	機雷敷設艦	排水量
「アルーストック」	機雷敷設艦	四、九五〇
「オグアラ」	機雷敷設艦	四、九五〇
「ポールティモア」	機雷敷設艦	四、四一三
「サン、フランシスコ」	機雷敷設艦	四、〇八三
「シャイエ」	「モニター」艦	二、八〇〇
「ヘリナ」	砲艦	一、三九二
「イザベル」	「ヨット」	九三八
「ナイアガラ」	「ヨット」	二、六〇〇
「ブリヂポート」	驅逐母艦	一、七五〇
「ドビン」	驅逐母艦	二、四五〇

二七

「メルヴィル」	驅逐母艦	七、一五〇
「フットニ」	驅逐母艦	一、二、四五〇
「ホランド」	潜水母艦	一、一、五七〇
「ヘンダスン」	海軍運送船	一〇、〇〇〇

二八

九一、四九六

佛蘭西國

艦船ノ名及型式

「カストール」	機雷敷設艦	三、一五〇
「ポリツクス」	機雷敷設艦	二、四六一
「コンマングン・テスト」	水上飛行機母艦	一〇、〇〇〇
「エーヌ」	通報艦	六〇〇
「マルヌ」	同	六〇〇
「アングル」	同	六〇四

排水量

「スカルプ」	同	六〇四
「シューッブ」	同	六〇四
「ダンケルク」	同	六四四
「ラフー」	同	六四四
「パボーム」	同	六四四
「ナンシー」	同	六四四
「カレー」	同	六四四
「ラッシュニー」	同	六四四
「レ、ゼバルジュ」	同	六四四
「ルミールモン」	同	六四四
「デュール」	同	六四四
「トゥール」	同	六四四
「エピナル」	同	六四四
「リエヴァン」	同	六四四

二九

網敷設艦 二、二九三
 二八、六四四

三〇

全英聯盟

艦船ノ名及型式

「アドヴェンチア」(聯合王國) 機雷敷設艦 六、七四〇 排水量
 「アルバトロス」(オーストラリア) 水上飛行機母艦 五、〇〇〇
 「エリバス」(聯合王國) 「モニター」艦 七、二〇〇
 「チラー」(聯合王國) 「モニター」艦 七、二〇〇
 「マーシャル、ソールト」(聯合王國) 「モニター」艦 六、四〇〇
 「クライヴ」(印度) 「スループ」艦 二、〇二一
 「メドウェー」(聯合王國) 潜水母艦 一五、〇〇〇
 四九、五六一

伊太利國

艦船ノ名及型式

「ミラリア」 水上飛行機母艦 四、八八〇 排水量
 「フエア、ディ、ブルーノ」 「モニター」艦 二、八〇〇
 「モンテ、グラッパ」 「モニター」艦 六〇五
 「モンテルロ」 「モニター」艦 六〇五
 「モンテ、チエンジオ」 前「モニター」艦 五〇〇
 「モンテ、ノヴェニオ」 前「モニター」艦 五〇〇
 「カンパニア」 「スループ」艦 二、〇七〇
 一一、九六〇

日本國

艦船ノ名及型式

阿蘇 機雷敷設艦 七、一八〇 排水量
 三

常磐	同	九、二四〇
淺間	老齡巡洋艦	九、二四〇
八雲	同	九、〇一〇
出雲	同	九、一八〇
磐手	同	九、一八〇
春日	同	七、〇八〇
淀	砲艦	一、三二〇
		六、四三〇

三二

第三編

亞米利加合衆國大統領、「グレート、ブリテン」「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下並ニ日本國皇帝陛下ハ相互ノ間ニ於テ本第三編ノ規定ニ同意セリ

第十四條

合衆國、全英聯盟及日本國ノ海軍戰艦ニシテ主力艦、航空母艦及第八條ニ依リ制限ヲ免除セラレタル一切ノ艦船以外ノモノハ本第三編ニ規定セララル所ニ從ヒ又特殊艦船ニ付テハ第十二條ニ規定セララル所ニ從ヒ本條約ノ有効期間中制限セララルベシ

第十五條

本第三編ノ適用ニ付テハ巡洋艦艦種及驅逐艦艦種ノ定義ハ左ノ如クナルベシ

- 巡洋艦
- 主力艦又ハ航空母艦以外ノ水上艦船ニシテ基準排水量千八百五十トン（千八百八十メートル式トン）ヲ超ユルカ又ハ口徑五・一インチ（百三十三ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ有スルモノ
- 巡洋艦艦種ハ左ノ如クニ級ニ分タル
- (甲) 口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ搭載スル巡洋艦
 - (乙) 口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超エザル砲ヲ搭載スル巡洋艦

三三

驅逐艦

基準排水量千八百五十トン（千八百八十メートル式トン）ヲ超エザル水上艦船ニシテ口径五・二インチ（百三十三ミリメートル）ヲ超エザル砲ヲ有スルモノ

第十六條

一 千九百三十六年十二月三十一日ニ於テ超過スベカラザル巡洋艦、驅逐艦及潜水艦ノ各艦種ノ竣工トン數ハ左表ニ示サル

艦種	合衆國	全英聯盟	日本國
巡洋艦	(甲) 口径六・二インチ (百五十五ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ有スルモノ (乙) 口径六・二インチ (百五十五ミリメートル)以下ノ砲ヲ有スルモノ	一四六、八〇〇トン (一四九、一四九メートル式トン)	一〇八、四〇〇トン (一一〇、一三四メートル式トン)
驅逐艦	一八〇、〇〇〇トン (一八二、八八〇メートル式トン)	一九二、二〇〇トン (一九五、二七五メートル式トン)	一〇〇、四五〇トン (一〇二、〇五七メートル式トン)

艦種	合衆國	全英聯盟	日本國
潛水艦	一五〇、〇〇〇トン (一五二、四〇〇メートル式トン)	一五〇、〇〇〇トン (一五二、四〇〇メートル式トン)	一〇五、五〇〇トン (一〇七、一八八メートル式トン)
驅逐艦	五二、七〇〇トン(五三、五四三メートル式トン)	五二、七〇〇トン(五三、五四三メートル式トン)	五二、七〇〇トン(五三、五四三メートル式トン)

二 艦船ニシテ何レカノ艦種ニ於ケル合計トン數ヲシテ前記ノ表ニ示サル数字ヲ超過スルニ至ラシムルモノハ千九百三十六年十二月三十一日ニ終ル期間中ニ漸次處分セララルベシ

三 (甲) 般巡洋艦ノ最大隻數ハ合衆國ニ付テハ十八隻、全英聯盟ニ付テハ十五隻又日本國ニ付テハ十二隻タルベシ

四 驅逐艦艦種ニ於テハ割當合計トン數ノ一割六分ヲ超エザルモノハ基準排水量千五百トン（千五百二十四メートル式トン）ヲ超ユル艦船ニ使用セラルコトヲ得千九百三十年四月一日ニ於テ竣工済又ハ建造中ニシテ右割合ヲ超ユル驅逐艦ハ保有セラルルコトヲ得ルモ基準排水量千五百トン（千五百二十四メートル式トン）ヲ超ユル他ノ驅逐艦ハ右一割六分迄ノ引下ガ實現セラル

ルニ至ル迄ハ建造セラレ又ハ取得セラルルコトヲ得ズ

三六

五 巡洋艦艦種ニ於ケル割當合計トシテ二割五分ヲ超エザルモノニハ航空機著艦用ノ臺又ハ甲板ヲ裝備スルコトヲ得

六 第七條二及三ニ掲ゲラルル潜水艦ハ當該締約國ノ潜水艦合計トシテ一部トシテ計算セラルベキモノトス

七 本條約第十三條ニ依リ保有セラレ又ハ第二編第二附屬書ニ從ヒ處分セラルル艦船ノトシテ數ハ制限ヲ附セラルルトシテ數中ニ包含セラルルコトナカルベシ

第十七條

融通ヲ受クベキ艦種又ハ艦級ノ割當合計トシテ數ノ一割ヲ超エザル融通ハ(乙)級巡洋艦ト驅逐艦トノ間ニ於テ許サルベシ

第十八條

合衆國ハ(甲)級巡洋艦十五隻トシテ數十五萬トシテ(十五萬二千四百メートル式トシテ)ヲ千九百三十五年迄ニ竣工スルノ企圖ヲ有ス合衆國ハ自國ガ建造スルノ權利ヲ與ヘラレタル殘餘ノ(甲)級巡洋艦

三隻ノ各隻ニ代フルニ(乙)級巡洋艦ノ一萬五千六百六十トシテ(一萬五千四百九メートル式トシテ)ヲ以テスルコトヲ選擇スルコトヲ得合衆國ガ右殘餘ノ(甲)級巡洋艦三隻中ノ一隻又ハ二隻以上ヲ建造スル場合ニ於テハ第十六隻ハ千九百三十三年前ニハ起工セラレザルベク且千九百三十六年前ニハ竣工セラレザルベシ第十七隻ハ千九百三十四年前ニハ起工セラレザルベク且千九百三十七年前ニハ竣工セラレザルベシ第十八隻ハ千九百三十五年前ニハ起工セラレザルベク且千九百三十八年前ニハ竣工セラレザルベシ

第十九條

第二十條ニ規定セラルル所ヲ除クノ外第十六條ニ依リ制限ヲ附セラルル何レカノ艦種ニ於ケル起工トシテ該艦種ノ最大割當トシテ數ニ達スル爲ニ又ハ千九百三十六年十二月三十一日前ニ「艦齡超過」ト爲ル艦船ヲ代換スル爲ニ必要ナル量ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ代換トシテ數ハ千九百三十七年、千九百三十八年及千九百三十九年ニ「艦齡超過」ト爲ル巡洋艦及潜水艦並ニ千九百三十七年及千九百三十八年ニ「艦齡超過」ト爲ル驅逐艦ニ對シ起工セラルルコトヲ得

第二十條

第二編第一附屬書ニ掲ゲラルル代換規則ニ拘ラズ

三七

- (イ) 「プロビシア」及「エフィンガム」(聯合王國)ハ千九百三十六年中ニ處分セラルコトヲ得
千九百三十年四月一日ニ於テ建造中ナル巡洋艦ニ關係ナク千九百三十六年十二月三十一日前
ニ全英聯盟ニ付竣工セラルベキ巡洋艦ノ合計代換トン數ハ九萬千トン(九萬二千四百五十六
メートル式トン)ヲ超ユルコトヲ得ズ
- (ロ) 日本國ハ千九百三十六年中ニ完了セラルベキ新艦建造ニ依リ多摩ヲ代換スルコトヲ得
千九百三十六年十二月三十一日前ニ「艦齡超過」ト爲ル驅逐艦ヲ代換スルコト以外ニ日本
國ハ千九百三十八年及千九百三十九年ニ「艦齡超過」ト爲ル艦船ノ一部ヲ代換スル爲千九百
三十五年及千九百三十六年ノ各年ニ於テ五千二百トン(五千二百八十三メートル式トン)ヲ
超エザルトン數ヲ起工スルコトヲ得
- (ニ) 日本國ハ潜水艦トン數一萬九千二百トン(一萬九千五百七メートル式トン)ヲ超エザルモ
ノヲ起工スルコトニ依リ本條約ノ有效期間中ニ於テ代換ヲ繰上グルコトヲ得右トン數中一萬
二千トン(一萬二千九百九十二メートル式トン)ヲ超エザルモノハ千九百三十六年十二月三十一
日迄ニ竣工セラルコトヲ得

第二十一條

本條約ノ有效期間中本條約第三編ノ何レカノ締約國ニ於テ本條約第三編ニ依リ制限セラレタル艦
船ニ關シ自國ノ安全ノ要件ガ本條約第三編ノ締約國以外ノ何レカノ國ノ新艦建造ニ依リ重大ナル
影響ヲ受ケタリト認メタル場合ニ於テハ右締約國ハ右艦船ノ艦種中ノ一又ハ二以上ニ於テ自國ノ
トン數ニ付爲サルコトヲ要スル増加ニ關シ、企圖セラレタル増加及之ガ理由ヲ特ニ明示シテ第
三編中ノ他ノ締約國ニ通告シ右増加ヲ爲スノ權利ヲ有スベシ右ノ結果トシテ本條約第三編中ノ他
ノ締約國ハ右明示セラレタル一艦種又ハ數艦種ヲ比例的ニ増加スルノ權利ヲ有スベク且右他ノ締
約國ハ右ニ依リ生ジタル事態ニ關シ外交的手段ニ依リ相互ニ速ニ協議スベシ

第四編

第二十二條

左記ハ國際法ノ確立セル規則トシテ受諾セラル

- (一) 潜水艦ハ其ノ商船ニ對スル行動ニ關シテハ水上艦船ガ從フベキ國際法ノ規則ニ從フコトヲ
要ス

四〇
(二) 特ニ、商船ガ正當ニ停船ヲ要求セラレタル時ニ於テ之ヲ頑強ニ拒否スルカ又ハ臨檢若ハ捜索ニ對シ積極的ニ抗拒スル場合ヲ除クノ外軍艦ハ其ノ水上艦船タルト潜水艦タルトヲ問ハズ先ヅ乗客、船員及船舶書類ヲ安全ノ場所ニ置クニ非ザレバ商船ヲ沈没セシメ又ハ航海ニ堪ヘザルモノト爲スコトヲ得ズ右規定ノ適用ニ付テハ船ノ短艇ハ當該時ノ海上及天候ノ状態ニ於テ陸地ニ近接セルコト又ハ乗客及船員ヲ船内ニ收容スルコトヲ得ル他ノ船舶ノ存在スルコトニ依リ右乗客及船員ノ安全ガ確保セララルルニ非ザレバ安全ノ場所ト看做サルルコトナシ
締約國ハ他ノ一切ノ國ニ對シ前記規則ニ其ノ同意ヲ表センコトヲ勸誘ス

第五編

第二十三條

左ノ例外ヲ留保シ本條約ハ千九百三十六年十二月三十一日ニ至ル迄引續キ效力ヲ有スベシ

- (一) 第四編ハ無期限ニ引續キ效力ヲ有スベシ
(二) 第三條、第四條及第五條ノ規定並ニ航空母艦ニ關スル限リ第十一條及第二編第二附屬書ノ

規定ハ「ワシントン」條約ト同一ノ期間内引續キ效力ヲ有スベシ

締約國ハ其ノ全部ガ締約國ト爲ルベキ一層一般的ナル海軍軍備制限協定ニ依リ別段ノ取極ヲ爲サザル限リ本條約ニ代リ且本條約ノ目的ヲ遂行スル新條約ヲ作成スル爲千九百三十五年ニ會議ヲ開催スベシ但シ本條約ノ何レノ規定モ右會議ニ於ケル何レノ締約國ノ態度ヲモ妨グルコトナカルベキモノトス

第二十四條

- 一 本條約ハ締約國ニ依リ各自ノ憲法上ノ手續ニ從ヒ批准セララルベク且批准書ハ成ルベク速ニ「ロンドン」ニ於テ寄託セララルベシ一切ノ批准書寄託證書ノ認證原本ハ一切ノ締約國ノ政府ニ送付セララルベシ
二 亞米利加合衆國、本條約ノ前文ニ列記セララルル全英聯盟ノ各邦ニ關シ「グレート、ブリテン」及「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下並ニ日本國皇帝陛下ノ批准書ガ寄託セララル時直ニ本條約ハ右締約國ニ付實施セララルベシ
三 佛蘭西共和國及伊太利王國ノ批准書ガ前號ニ掲ゲラルル實施ノ日ニ於テ寄託濟ナルトキハ本條約ノ第一編、第二編、第四編及第五編ハ右ノ日ニ於テ右兩國ニ付實施セララルベク然ラザル場

合ニ於テハ右諸編ハ右兩國ノ各ニ付其ノ批准書ノ寄託アリタル時ニ於テ實施セララルベシ

四 本條約第三編ヨリ生ズル權利及義務ハ本條ニ掲ゲラルル締約國ニ局限セララル締約國ハ本條
 二ニ掲ゲラルル締約國ノ右第三編ニ依リ負擔スル義務ガ佛蘭西國及伊太利國トノ關係ニ於テ本
 條ニ締約國ヲ拘束スル日及條件ニ關シ協定ヲ爲スベシ右協定ハ同時ニ佛蘭西國及伊太利國ノ
 他ノ締約國トノ關係ニ於ケル同様ノ義務ヲ決定スベシ

第二十五條

一切ノ締約國ノ批准書ノ寄託後「グレート、ブリタン」及北部「アイルランド」聯合王國ニ於ケ
 ル皇帝陛下ノ政府ハ本條約第四編ニ掲ゲラルル規定ヲ右條約ノ署名國ニ非ザル一切ノ國ニ通知シ
 テ確定的ニ且無期限ニテ右規定ニ加入スルコトヲ右一切ノ國ニ對シ勸誘スベシ

右加入ハ「グレート、ブリタン」及北部「アイルランド」聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ニ宛
 ラタル宣言書ニ依リ行ハルベシ

第二十六條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ其ニ正文トシ「グレート、ブリタン」及北部「アイル
 ランド」聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ノ編録ニ寄託保存セララルベシ右本文ノ認證原本ハ一切

ノ締約國ノ政府ニ送付セララルベシ

右證據トシテ前記各全權委員ハ本條約ニ署名調印セリ

千九百三十年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ作成ス

- ヘンリ、エル、スティムスン
- チャールズ、ジー、ドーズ
- チャールズ、エフ、アダムズ
- ジョゼフ、ティー、ロビンスン
- デーヴィド、エー、リード
- ヒュー、ギンスン
- ドワイト、ダブリュー、モロー
- アリストアイド、ブリアン

- (印)
- (印)
- (印)
- (印)
- (印)
- (印)
- (印)
- (印)

ジー、エル、デメニル
ア、ド、フルリオ
ジー、ラムジ、マクドナルド
ア、サ、ヘンダスン
エ、グ、アレグザンダー
ダブリ、ウチウッド、ベン
フリップ、ロア
ジ、ムズ、イト、フエン
タイ、エム、ウルフ
シー、タイ、ウ、ウ
タイ、エ、スミ
ア、トル、シー、タ
ジー、シリアン
ア、チ、ボル

(印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印)

アルフレド、アクトン
若槻禮次郎
財部 彪
松平 恒雄
永井 松三

(印) (印) (印) (印) (印)

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ル
日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕昭和五年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ帝國全權委員ガ亞米
利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及伊太利國ノ全權委員ト共ニ署名
調印シタル千九百三十年「ロンドン」海軍條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ
嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百九十年昭和五年十月二日東京宮城ニ於
テ親ラ名ヲ著シ璽ヲ鈐セシム

御名 國 璽

外務大臣男爵幣原喜重郎

内閣

tions authentiques en seront
remises aux Gouvernements de
toutes les Hautes Parties
Contractantes.

En foi de quoi les Pléni-
potentiaires sus-nommés ont
signé le présent Traité et y ont
apposé leurs cachets.

Fait à Londres, le vingt-deux
avril mil-neuf cent trente.

Duly certified copies thereof
shall be transmitted to the
Governments of all the High
Contracting Parties.

In faith whereof the above-
named Plenipotentiaries have
signed the present Treaty and
have affixed thereto their seals.

Done at London, the twenty-
second day of April, nineteen
hundred and thirty.

(L. S.) HENRY L. STIMSON.

(L. S.) CHARLES G. DAWES.

(L. S.) CHARLES F. ADAMS.

(L. S.) JOSEPH T. ROBINSON.

(L. S.) DAVID A. REED.

(L. S.) HUGH GIBSON.

(L. S.) DWIGHT W. MORROW.

(L. S.) ARISTIDE BRIAND.

(L. S.) J. L. DUMESNIL.

(L. S.) A. DE FLEURIAU.

(L. S.) J. RAMSAY MacDONALD.

(L. S.) ARTHUR HENDERSON.

(L. S.) A. V. ALEXANDER.

(L. S.) W. WEDGWOOD BENN.

(L. S.) PHILIPPE ROY.

(L. S.) JAMES E. FENTON.

(L. S.) T. M. WILFORD.

(L. S.) C. T. TE WATER.

(L. S.) T. A. SMIDDY.

(L. S.) ATUL C. CHATTERJEE.

(L. S.) G. SIRIANNI.

(L. S.) A. C. BORDONARO.

(L. S.) ALFREDO ACTON.

(L. S.) R. WAKATSUKI.

(L. S.) TAKESHI TAKARABE.

(L. S.) T. MATSUDAIRA.

(L. S.) M. NAGAI.

tudo d'aucune des Hautes Contracting Parties at the conference. Parties Contractantes à cette conférence.

ARTICLE 24.

1. Le présent Traité sera ratifié par les Hautes Parties Contractantes selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues. et les ratifications en seront déposées à Londres le plus tôt qu'il sera possible. Des expéditions authentiques de tous les procès-verbaux de dépôt des ratifications seront transmises aux Gouvernements de toutes les Hautes Parties Contractantes.

2. Dès que les ratifications des États-Unis d'Amérique, de Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au delà des Mers, Empereur des Indes, à l'égard de chacun des Membres de la Communauté de Nations Britannique énumérés au préambule du présent Traité et celle de Sa Majesté l'Empereur du Japon auront été déposées, le Traité entrera en vigueur à l'égard de ces Hautes Parties Contractantes.

3. A la date d'entrée en vigueur visée dans l'alinéa précédent, les Parties I, II, IV et V du présent Traité entreront en vigueur à l'égard de la République Française et du Royaume d'Italie si leurs ratifications ont été déposées à cette date; au cas contraire, elles entreront en vigueur à l'égard de chacune de ces deux Puissances lors du dépôt de sa ratification.

4. Les droits et obligations résultant de la Partie III du présent

ARTICLE 24.

1. The present Treaty shall be ratified by the High Contracting Parties in accordance with their respective constitutional methods and the ratifications shall be deposited at London as soon as possible. Certified copies of all the *procès-verbaux* of the deposit of ratifications will be transmitted to the Governments of all the High Contracting Parties.

2. As soon as the ratifications of the United States of America, of His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India, in respect of each and all of the Members of the British Commonwealth of Nations as enumerated in the preamble of the present Treaty, and of His Majesty the Emperor of Japan have been deposited, the Treaty shall come into force in respect of the said High Contracting Parties.

3. On the date of the coming into force referred to in the preceding paragraph, Parts I, II, IV and V of the present Treaty will come into force in respect of the French Republic and the Kingdom of Italy if their ratifications have been deposited at that date; otherwise these Parts will come into force in respect of each of those Powers on the deposit of its ratification.

4. The rights and obligations resulting from Part III of the

Traité sont limités aux Hautes Parties Contractantes visées au paragraphe 2 du présent Article. Les Hautes Parties Contractantes détermineront d'un commun accord la date à partir de laquelle, et les modalités selon lesquelles les obligations que les Hautes Parties Contractantes visées au paragraphe 2 du présent Article ont assumées en vertu de ladite Partie III lieront vis-à-vis de la France et de l'Italie; le susdit accord déterminera en même temps les obligations correspondantes de la France et de l'Italie vis-à-vis des autres Hautes Parties Contractantes.

ARTICLE 25.

Après le dépôt des ratifications de toutes les Hautes Parties Contractantes, le Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande du Nord communiquera les dispositions figurant dans la Partie IV du présent Traité à toutes les Puissances non signataires dudit Traité et les invitera à y adhérer expressément et sans limite de durée.

Cette adhésion sera effectuée par une déclaration adressée au Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande du Nord.

ARTICLE 26.

Le présent Traité, dont les textes français et anglais feront foi, restera déposé dans les archives du Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande du Nord. Des expédi-

present Treaty are limited to the High Contracting Parties mentioned in paragraph 2 of this Article. The High Contracting Parties will agree as to the date on which, and the conditions under which, the obligations assumed under the said Part III by the High Contracting Parties mentioned in paragraph 2 of this Article will bind them in relation to France and Italy; such agreement will determine at the same time the corresponding obligations of France and Italy in relation to the other High Contracting Parties.

ARTICLE 25.

After the deposit of the ratifications of all the High Contracting Parties, His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland will communicate the provisions inserted in Part IV of the present Treaty to all Powers which are not signatories of the said Treaty, inviting them to accede thereto definitely and without limit of time.

Such accession shall be effected by a declaration addressed to His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland.

ARTICLE 26.

The present Treaty, of which the French and English texts are both authentic, shall remain deposited in the archives of His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland.

Partie Contractante notifiera aux autres Parties à la Partie III l'augmentation à laquelle elle aura besoin de procéder dans une ou plusieurs des classes desdits bâtiments de guerre, spécifiant en particulier les augmentations envisagées et leurs raisons, et elle aura le droit de procéder à cette augmentation. En suite de quoi, les autres Parties à la Partie III du présent Traité auront le droit de procéder à des augmentations proportionnées dans la classe ou les classes spécifiées; lesdites autres Parties se consulteront promptement par la voie diplomatique au sujet de la situation ainsi créée.

PARTIE IV.

ARTICLE 22.

Les dispositions suivantes sont acceptées comme règles établies du Droit International:

(1) Dans leur action à l'égard des navires de commerce, les sous-marins doivent se conformer aux règles du Droit International auxquelles sont soumis les bâtiments de guerre de surface.

(2) En particulier, excepté dans le cas de refus persistant de s'arrêter après sommation régulière ou de résistance active à la visite, un navire de guerre, qu'il soit bâtiment de surface ou sous-marin, ne peut couler ou rendre incapable de naviguer un navire de commerce sans avoir au préalable mis les passagers, l'équipage et les papiers de bord en lieu sûr. A cet effet, les embarcations du bord ne sont

Parties to Part III as to the increase required to be made in its own tonnages within one or more of the categories of such vessels of war, specifying particularly the proposed increases and the reasons therefor, and shall be entitled to make such increase. Thereupon the other Parties to Part III of this Treaty shall be entitled to make a proportionate increase in the category or categories specified; and the said other Parties shall promptly advise with each other through diplomatic channels as to the situation thus presented.

PART IV.

ARTICLE 22.

The following are accepted as established rules of International Law:

(1) In their action with regard to merchant ships, submarines must conform to the rules of International Law to which surface vessels are subject.

(2) In particular, except in the case of persistent refusal to stop on being duly summoned, or of active resistance to visit or search, a warship, whether surface vessel or submarine, may not sink or render incapable of navigation a merchant vessel without having first placed passengers, crew and ship's papers in a place of safety. For this purpose the ship's boats are not regarded as a place of safety

pas considérées comme un lieu sûr, à moins que la sécurité des passagers et de l'équipage ne soit assurée, compte tenu de l'état de la mer et des conditions atmosphériques, par la proximité de la terre ou la présence d'un autre bâtiment qui soit en mesure de les prendre à bord.

Les Hautes Parties Contractantes invitent toutes les autres Puissances à exprimer leur assentiment aux règles ci-dessus énoncées.

unless the safety of the passengers and crew is assured, in the existing sea and weather conditions, by the proximity of land, or the presence of another vessel which is in a position to take them on board.

The High Contracting Parties invite all other Powers to express their assent to the above rules.

PARTIE V.

ARTICLE 23.

Le présent Traité demeurera en vigueur jusqu'au 31 décembre 1936, sauf les exceptions suivantes:

(1) la Partie IV restera en vigueur sans limite de durée;

(2) les dispositions des Articles 3, 4 et 5, ainsi que celles de l'Article 11 et de l'Annexe II à la Partie II en tant qu'elles concernent les porte-aéronefs, resteront en vigueur aussi longtemps que le Traité de Washington.

A moins que les Hautes Parties Contractantes n'en décident autrement en raison d'un accord plus général limitant les armements navals et auquel elles seraient toutes parties, elles se réuniront en conférence en 1935 en vue de conclure un nouveau traité qui remplacerait le présent Traité et répondrait aux mêmes fins. Il est entendu qu'aucune des dispositions du présent Traité ne préjuge l'atti-

PART V.

ARTICLE 23.

The present Treaty shall remain in force until the 31st December, 1936, subject to the following exceptions:

(1) Part IV shall remain in force without limit of time;

(2) the provisions of Articles 3, 4 and 5, and of Article 11 and Annex II to Part II so far as they relate to aircraft carriers, shall remain in force for the same period as the Washington Treaty.

Unless the High Contracting Parties should agree otherwise by reason of a more general agreement limiting naval armaments, to which they all become parties, they shall meet in conference in 1935 to frame a new treaty to replace and to carry out the purposes of the present Treaty, it being understood that none of the provisions of the present Treaty shall prejudice the attitude of any of the High

quinze croiseurs de la sous-classe (a) d'un tonnage total de 150.000 tonnes (152.400 tonnes métriques). A chacun des trois autres croiseurs de la sous-classe (a) qu'ils ont le droit de construire, les États-Unis peuvent, s'ils le préfèrent, substituer 15.166 tonnes (15.409 tonnes métriques) de croiseurs de la sous-classe (b). Au cas où les États-Unis construiraient un ou plus desdits trois autres croiseurs de la sous-classe (a), la seizième unité ne sera pas mise sur cale avant 1993 et ne sera pas achevée avant 1996; la dix-septième ne sera pas mise sur cale avant 1994 et ne sera pas achevée avant 1997; la dix-huitième ne sera pas mise sur cale avant 1995 et ne sera pas achevée avant 1998.

ARTICLE 19.

Sauf les exceptions prévues à l'Article 20, le tonnage mis sur cale dans une classe soumise à limitation aux termes de l'Article 16 ne dépassera pas la quantité nécessaire pour atteindre le tonnage maximum alloué dans cette classe, ou pour remplacer les bâtiments qui deviendront "hors d'âge" avant le 31 décembre 1986. Néanmoins, le tonnage de remplacement pourra être mis sur cale pour les croiseurs et les sous-marins qui deviendront "hors d'âge" en 1987, 1988 et 1989 et pour les destroyers qui deviendront "hors d'âge" en 1987 et 1988.

ARTICLE 20.

Nonobstant les règles de remplacement énoncées à l'Annexe I à la Partie II :

(a) Le "Frobisher" et l'"Effingham" (Royaume-Uni)

of fifteen cruisers of sub-category (a) of an aggregate tonnage of 150,000 tons (152,400 metric tons). For each of the three remaining cruisers of sub-category (a) which it is entitled to construct the United States may elect to substitute 15,166 tons (15,409 metric tons) of cruisers of sub-category (b). In case the United States shall construct one or more of such three remaining cruisers of sub-category (a), the sixteenth unit will not be laid down before 1993 and will not be completed before 1996; the seventeenth will not be laid down before 1994 and will not be completed before 1997; the eighteenth will not be laid down before 1995 and will not be completed before 1998.

ARTICLE 19.

Except as provided in Article 20, the tonnage laid down in any category subject to limitation in accordance with Article 16 shall not exceed the amount necessary to reach the maximum allowed tonnage of the category, or to replace vessels that become "over-age" before the 31st December, 1986. Nevertheless, replacement tonnage may be laid down for cruisers and submarines that become "over-age" in 1987, 1988 and 1989, and for destroyers that become "over-age" in 1987 and 1988.

ARTICLE 20.

Notwithstanding the rules for replacement contained in Annex I to Part II :

(a) The "Frobisher" and "Effingham" (United King-

pourront être déclassés au cours de l'année 1986. En dehors des croiseurs en construction au 1er avril 1980, le tonnage total de remplacement des croiseurs à achever pour ce qui concerne la Communauté de Nations Britannique avant le 31 décembre 1986 ne dépassera pas 91.000 tonnes (92.456 tonnes métriques).

(b) Le Japon pourra remplacer le "Tama" par des constructions neuves à achever au cours de l'année 1986.

(c) En plus du remplacement des destroyers qui deviendront "hors d'âge" avant le 31 décembre 1986, le Japon pourra mettre sur cale dans chacune des années 1985 et 1986 un tonnage ne dépassant pas 5.200 tonnes (5.288 tonnes métriques), pour remplacer des navires qui deviendront "hors d'âge" en 1988 et 1989.

(d) Le Japon peut procéder à des remplacements anticipés pendant la durée du présent Traité, en mettant sur cale un tonnage de sous-marins ne dépassant pas 19.200 tonnes (19.507 tonnes métriques), dont 12.000 (12.192 tonnes métriques) au plus pourront être achevées au 31 décembre 1986.

ARTICLE 21.

Si, pendant la durée du présent Traité, une des Hautes Parties Contractantes estime que les exigences de sa sécurité nationale, en ce qui touche les bâtiments de guerre limités par la Partie III du présent Traité, sont matériellement affectées par les constructions nouvelles de toute Puissance autre que celles qui se sont liées par la Partie III du présent Traité, cette Haute

dom) may be disposed of during the year 1986. Apart from the cruisers under construction on the 1st April, 1980, the total replacement tonnage of cruisers to be completed, in the case of the British Commonwealth of Nations, prior to the 31st December, 1986, shall not exceed 91,000 tons (92,456 metric tons).

(b) Japan may replace the "Tama" by new construction to be completed during the year 1986.

(c) In addition to replacing destroyers becoming "over-age" before the 31st December, 1986, Japan may lay down, in each of the years 1985 and 1986, not more than 5,200 tons (5,288 metric tons) to replace part of the vessels that become "over-age" in 1988 and 1989.

(d) Japan may anticipate replacement during the term of the present Treaty by laying down not more than 19,200 tons (19,507 metric tons) of submarine tonnage, of which not more than 12,000 tons (12,192 metric tons) shall be completed by the 31st December, 1986.

ARTICLE 21.

If, during the term of the present Treaty, the requirements of the national security of any High Contracting Party in respect of vessels of war limited by Part III of the present Treaty are in the opinion of that Party materially affected by new construction of any Power other than those who have joined in Part III of this Treaty, that High Contracting Party will notify the other

ARTICLE 16.

1. Dans les classes des croiseurs, des destroyers et des sous-marins, le tonnage achevé qui ne doit pas être dépassé à la date du 31 décembre 1936 est énoncé au tableau ci-après :

Classes.	États-Unis.	Communauté de Nations Britannique.	Japon.
Croiseurs :			
(a) à artillerie d'un calibre dépassant 155 mm. (6,1 pouces).	180,000 t. (182,880 t.m.)	146,800 t. (149,149 t.m.)	198,400 t. (110,134 t.m.)
(b) à artillerie d'un calibre de 155 mm. (6,1 pouces) ou au-dessous.	143,500 t. (145,796 t.m.)	102,200 t. (105,275 t.m.)	100,450 t. (102,057 t.m.)
Destroyers	150,000 t. (152,400 t.m.)	150,000 t. (152,400 t.m.)	105,500 t. (107,188 t.m.)
Sous-marins	52,700 t. (53,843 t.m.)	52,700 t. (53,843 t.m.)	52,700 t. (53,842 t.m.)

Categories.	United States.	British Commonwealth of Nations.	Japan.
Cruisers :			
(a) with guns of more than 6.1-inch (155 mm.) calibre.	180,000 tons (182,880 metric tons)	146,800 tons (149,149 metric tons)	198,400 tons (110,134 metric tons)
(b) with guns of 6.1-inch (155 mm.) calibre or less.	143,500 tons (145,796 metric tons)	102,200 tons (105,275 metric tons)	100,450 tons (102,057 metric tons)
Destroyers	150,000 tons (152,400 metric tons)	150,000 tons (152,400 metric tons)	105,500 tons (107,188 metric tons)
Submarines	52,700 tons (53,843 metric tons)	52,700 tons (53,843 metric tons)	52,700 tons (53,842 metric tons)

2. Les bâtiments qui ont pour effet de faire dépasser dans une classe quelconque le tonnage total indiqué au tableau ci-dessus seront déclassés graduellement durant la période prenant fin au 31 décembre 1936.

3. Le nombre maximum des croiseurs de la sous-classe (a) sera le suivant : pour les États-Unis, dix-huit ; pour la Communauté de Nations Britannique, quinze ; pour le Japon, douze.

ARTICLE 16.

1. The completed tonnage in the cruiser, destroyer and submarine categories which is not to be exceeded on the 31st December, 1936, is given in the following table :

4. Un pourcentage n'excédant pas seize pour cent du tonnage total alloué dans la classe des destroyers pourra être utilisé en bâtiments dépassant le déplacement type de 1.500 tonnes (1.524 tonnes métriques). Les destroyers achevés ou en construction au 1er avril 1930 qui sont en excédent de la limite de ce pourcentage peuvent être conservés, mais il ne pourra être construit ou acquis d'autres destroyers d'un déplacement type dépassant 1.500 tonnes (1.524 tonnes métriques) tant que la réduction à seize pour cent n'aura pas été effectuée.

5. Un pourcentage n'excédant pas vingt-cinq pour cent du tonnage total alloué dans la classe des croiseurs pourra être muni d'une plateforme ou d'un pont d'atterrissage pour aéronefs.

6. Il est entendu que les sous-marins visés aux paragraphes 2 et 3 de l'Article 7 sont comptés dans le tonnage total en sous-marins de la Haute Partie Contractante intéressée.

7. Le tonnage des bâtiments conservés conformément à l'Article 13 ou déclassés conformément à l'Annexe II à la Partie II du présent Traité ne sera pas compris dans le tonnage soumis à limitation.

ARTICLE 17.

Entre les croiseurs de la sous-classe (b) et les destroyers est autorisé un transfert ne dépassant pas dix pour cent du tonnage total alloué dans la classe ou sous-classe dans laquelle ce transfert s'effectuera.

ARTICLE 18.

Les États-Unis envisagent l'achèvement pour 1935 de

4. In the destroyer category not more than sixteen per cent. of the allowed total tonnage shall be employed in vessels of over 1,500 tons (1,524 metric tons) standard displacement. Destroyers completed or under construction on the 1st April, 1930, in excess of this percentage may be retained, but no other destroyers exceeding 1,500 tons (1,524 metric tons) standard displacement shall be constructed or acquired until a reduction to such sixteen per cent. has been effected.

5. Not more than twenty-five per cent. of the allowed total tonnage in the cruiser category may be fitted with a landing-on platform or deck for aircraft.

6. It is understood that the submarines referred to in paragraphs 2 and 3 of Article 7 will be counted as part of the total submarine tonnage of the High Contracting Party concerned.

7. The tonnage of any vessels retained under Article 13 or disposed of in accordance with Annex II to Part II of the present Treaty shall not be included in the tonnage subject to limitation.

ARTICLE 17.

A transfer not exceeding ten per cent. of the allowed total tonnage of the category or sub-category into which the transfer is to be made shall be permitted between cruisers of sub-category (b) and destroyers.

ARTICLE 18.

The United States contemplates the completion by 1935

ITALIE.		ITALY.	
Nom et type du bâtiment.	Déplacement. Tonnes.	Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Miraglia — Transport d'hydravions	4.880	Miraglia — Seaplane carrier	4.880
Faà di Bruno—Monitor	2.800	Faà di Bruno—Monitor	2.800
Monte Grappa—Monitor	605	Monte Grappa—Monitor	605
Montello—Monitor	605	Montello—Monitor	605
Monte Cengio—Ancien monitor	500	Monte Cengio — Ex-monitor	500
Monte Novogno—Ancien monitor	500	Monte Novogno — Ex-monitor	500
Campania—Aviso	2.070	Campania—Sloop	2.070
	11.960		11.960

JAPON.		JAPAN.	
Nom et type du bâtiment.	Déplacement. Tonnes.	Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Aso—Mouilleur de mines	7.180	Aso—Minelayer	7.180
Tokiwa " "	9.240	Tokiwa " "	9.240
Asama—Vieux croiseur	9.240	Asama—Old cruiser	9.240
Yakumo " "	9.010	Yakumo " "	9.010
Izumo " "	9.180	Izumo " "	9.180
Iwate " "	9.180	Iwate " "	9.180
Kasuga " "	7.080	Kasuga " "	7.080
Yodo—Canonnière	1.320	Yodo—Gunboat	1.320
	61.130		61.430

PARTIE III.

Le Président des Etats-Unis d'Amérique, Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au delà des Mers, Empereur des Indes, et Sa Majesté l'Empereur du Japon sont convenus entre eux des dispositions de la présente Partie III :

PART III.

The President of the United States of America, His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India, and His Majesty the Emperor of Japan, have agreed as between themselves to the provisions of this Part III :

ARTICLE 14.

Les bâtiments combattants de la flotte militaire des Etats-Unis, de la Communauté de Nations Britannique et du Japon, autres que les bâtiments de ligne, les porte-aéronefs et les bâtiments exempts de limitation aux termes de l'Article 8, seront limités, pendant la durée du présent Traité, comme il est prévu dans la présente Partie III, et, pour les bâtiments spéciaux, comme il est prévu à l'Article 12.

ARTICLE 14.

The naval combatant vessels of the United States, the British Commonwealth of Nations and Japan, other than capital ships, aircraft carriers and all vessels exempt from limitation under Article 8, shall be limited during the term of the present Treaty as provided in this Part III, and, in the case of special vessels, as provided in Article 12.

ARTICLE 15.

Aux fins de la présente Partie III, la définition des classes des croiseurs et des destroyers sera la suivante :

Croiseurs.

Bâtiments de guerre de surface, autres que les bâtiments de ligne ou les porte-aéronefs, dont le déplacement type dépasse 1.850 tonnes (1.880 tonnes métriques), ou dont l'artillerie dépasse le calibre de 130 millimètres (5,1 pouces).

La classe des croiseurs se divise en deux sous-classes, à savoir :

- (a) croiseurs portant un canon dont le calibre dépasse 155 millimètres (6,1 pouces) :
- (b) croiseurs portant un canon dont le calibre ne dépasse pas 155 millimètres (6,1 pouces).

Destroyers.

Bâtiments de guerre de surface dont le déplacement type ne dépasse pas 1.850 tonnes (1.880 tonnes métriques) et dont le calibre de l'artillerie ne dépasse pas 130 millimètres (5,1 pouces).

ARTICLE 15.

For the purpose of this Part III the definition of the cruiser and destroyer categories shall be as follows :

Cruisers.

Surface vessels of war, other than capital ships or aircraft carriers, the standard displacement of which exceeds 1,850 tons (1,880 metric tons), or with a gun above 5.1-inch (130 mm.) calibre.

The cruiser category is divided into two sub-categories, as follows :

- (a) cruisers carrying a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre ;
- (b) cruisers carrying a gun not above 6.1-inch (155 mm.) calibre.

Destroyers.

Surface vessels of war the standard displacement of which does not exceed 1,850 tons (1,880 metric tons), and with a gun not above 5.1-inch (130 mm.) calibre.

chaudières dépassant celui qui est nécessaire pour donner la vitesse maximum de dix-huit nœuds.

2. *Autres bâtiments de surface conservés par la France, l'Italie et le Japon.*

Les mesures suivantes devront être prises :

- (1) enlèvement de la moitié des canons; cependant quatre canons de l'artillerie principale pourront être conservés sur chaque bâtiment;
- (2) enlèvement de tous les tubes lance-torpilles;
- (3) enlèvement de toutes les installations d'aviation avec leurs accessoires;
- (4) enlèvement de la moitié des chaudières.

(c) La Haute Partie Contractante intéressée s'engage à ne pas utiliser pour des fins de combat les bâtiments conservés en application des dispositions de la présente Section.

number required for a maximum speed of eighteen knots.

2. *Other surface vessels retained by France, Italy and Japan.*

The following is to be carried out :

- (1) removal of one half of the guns, but four guns of main calibre may be retained on each vessel;
- (2) removal of all torpedo tubes;
- (3) removal of all aviation facilities and accessories;
- (4) removal of one half of the boilers.

(c) The High Contracting Party concerned undertakes that vessels retained in accordance with the provisions of this Section shall not be used for any combatant purpose.

ANNEXE III.

Bâtiments spéciaux.

ETATS-UNIS.	
Nom et type du bâtiment.	Déplacement. Tonnes.
Aroostook — Mouilleur de mines	4,950
Oglala — Mouilleur de mines	4,950
Baltimore — Mouilleur de mines	4,413
San Francisco — Mouilleur de mines	4,083
Cheyenne — Monitor	2,800
Helena — Canonnière	1,392
Isabel — Yacht	938
Niagara — Yacht	2,600
Bridgeport — Bâtiment-dépôt pour torpilleurs	11,750
Dobbin — Bâtiment-dépôt pour torpilleurs	12,450
Melville — Bâtiment-dépôt pour torpilleurs	7,150
Whitney — Bâtiment-dépôt pour torpilleurs	12,450
Holland — Bâtiment-dépôt pour sous-marins	11,570
Henderson — Transport de la flotte	10,000
	<u>91,496</u>

ANNEX III.

Special vessels.

UNITED STATES.	
Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Aroostook — Minelayer	4,950
Oglala — Minelayer	4,950
Baltimore — Minelayer	4,413
San Francisco — Minelayer	4,083
Cheyenne — Monitor	2,800
Helena — Gunboat	1,392
Isabel — Yacht	938
Niagara — Yacht	2,600
Bridgeport — Destroyer tender	11,750
Dobbin — Destroyer tender	12,450
Melville — Destroyer tender	7,150
Whitney — Destroyer tender	12,450
Holland — Submarine tender	11,570
Henderson — Naval transport	10,000
	<u>91,496</u>

FRANCE.

Nom et type de bâtiment.	Déplacement. Tonnes.
Castor—Mouilleur mines	3,150
Pollux—Mouilleur mines.	2,461
Commandant - Teste — Transport d'hydravions	10,000
Aisne — Aviso	600
Marne	600
Ancro	604
Scarpe	604
Suippe	604
Dunkerque	644
Laffaux	644
Bapaume	644
Nancy	644
Calais	644
Lassigny	644
Les Eparges	644
Remiremont	644
Tahuro	644
Toul	644
Epinal	644
Liévin	644
(—) — Mouilleur filets	2,293
	<u>28,614</u>

FRANCE.

Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Castor—Minelayer	3,150
Pollux—Minelayer	2,461
Commandant - Teste — Seaplane carrier	10,000
Aisne—Despatch vessel	600
Marne	600
Ancro	604
Scarpe	604
Suippe	604
Dunkerque	644
Laffaux	644
Bapaume	644
Nancy	644
Calais	644
Lassigny	644
Les Eparges	644
Remiremont	644
Tahuro	644
Toul	644
Epinal	644
Liévin	644
(—)—Netlayer	2,293
	<u>28,614</u>

COMMUNAUTÉ DE NATIONS BRITANNIQUE.

Nom et type du bâtiment.	Déplacement. Tonnes.
Adventure—Mouilleur mines (Royaume-Uni)	6,740
Albatross—Transport d'hydravions (Australie)	5,000
Erebus—Monitor (Royaume-Uni)	7,200
Terror—Monitor (Royaume-Uni)	7,200
Marshal Soult—Monitor (Royaume-Uni)	6,400
Clive—Aviso (Inde)	2,021
Medway — Bâtiment-dépôt pour sous-marins (Royaume-Uni)	15,000
	<u>49,561</u>

BRITISH COMMONWEALTH OF NATIONS.

Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Adventure—Minelayer (United Kingdom)	6,740
Albatross—Seaplane carrier (Australia)	5,000
Erebus—Monitor (United Kingdom)	7,200
Terror—Monitor (United Kingdom)	7,200
Marshal Soult—Monitor (United Kingdom)	6,400
Clive—Sloop (India)	2,021
Medway—Submarine depot ship (United Kingdom)	15,000
	<u>49,561</u>

mais, de ces trois bâtiments, un seul pourra dépasser le déplacement type de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques);

(2) un sous-marin.

(c) La Haute Partie Contractante intéressée s'engage à ne pas remettre en état de remplir un service de combat un bâtiment conservé pour être utilisé comme cible.

Section IV.—Bâtiments à conserver pour servir à des expériences.

(a) Un bâtiment à déclasser en le transformant pour servir exclusivement à des expériences subira le traitement prévu à la Section III (a) de la présente Annexe.

(b) Sans préjudice des règles générales, et pourvu que l'avis en soit dûment donné aux autres Hautes Parties Contractantes, des dérogations raisonnables aux conditions prescrites à la Section III (a) de la présente Annexe, dans la mesure où elles seront nécessaires pour les besoins d'une expérience spéciale, pourront être admises à titre de mesure temporaire.

Toute Haute Partie Contractante qui voudra bénéficier de cette disposition sera tenue de fournir des détails complets sur toutes dérogations de ce genre et d'indiquer la durée pour laquelle ces dérogations seront nécessaires.

(c) Chacune des Hautes Parties Contractantes est autorisée à conserver simultanément pour servir exclusivement à des expériences:

(1) au plus deux bâtiments (croiseurs ou destroyers), mais, de ces deux bâtiments, un seul pourra dépasser le déplacement type de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques);

(2) un sous-marin.

(d) Le Royaume-Uni est autorisé à conserver dans leur état actuel le monitor "Roberts", dont l'artillerie principale avec ses appareils de manœuvre a été définitivement mise hors d'usage, et le transport d'hydravions "Ark Royal", tant qu'ils seront nécessaires pour servir à des expériences. La conservation de ces deux bâtiments n'affecte pas la conservation des bâtiments que permet le paragraphe (c) ci-dessus.

of these three vessels only one may exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement;

(2) one submarine.

(c) On retaining a vessel for target use, the High Contracting Party concerned undertakes not to recondition it for warlike service.

Section IV.—Vessels retained for experimental purposes.

(a) A vessel to be disposed of by conversion to experimental purposes exclusively shall be dealt with in accordance with the provisions of Section III (a) of this Annex.

(b) Without prejudice to the general rules, and provided that due notice be given to the other High Contracting Parties, reasonable variation from the conditions prescribed in Section III (a) of this Annex, in so far as may be necessary for the purposes of a special experiment, may be permitted as a temporary measure.

Any High Contracting Party taking advantage of this provision is required to furnish full details of any such variations and the period for which they will be required.

(c) Each High Contracting Party is permitted to retain for experimental purposes exclusively at any one time:

(1) not more than two vessels (cruisers or destroyers), but of these two vessels only one may exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement;

(2) one submarine.

(d) The United Kingdom is allowed to retain, in their present conditions, the monitor "Roberts", the main armament guns and mountings of which have been mutilated, and the seaplane carrier "Ark Royal", until no longer required for experimental purposes. The retention of these two vessels is without prejudice to the retention of vessels permitted under (c) above.

(e) La Haute Partie Contractante intéressée s'engage à ne pas remettre en état de remplir un service de combat un bâtiment conservé pour ces usages.

Section V.—Bâtiments à conserver pour l'instruction.

(a) En plus des droits qu'elle possède déjà en vertu du Traité de Washington, chacune des Hautes Parties Contractantes est autorisée à conserver, exclusivement pour l'instruction, les bâtiments suivants:

États-Unis: 1 bâtiment de ligne ("Arkansas" ou "Wyoming");
France: 2 bâtiments de surface, dont l'un pourra dépasser le déplacement type de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques);
Royaume-Uni: 1 bâtiment de ligne ("Iron Duke");
Italie: 2 bâtiments de surface, dont l'un pourra dépasser le déplacement type de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques);
Japon: 1 bâtiment de ligne ("Hiyei"), 3 croiseurs (type "Kuma").

(b) Les bâtiments conservés pour l'instruction en vertu des dispositions du paragraphe (a) devront subir le traitement suivant dans les six mois à partir de la date à laquelle ils doivent être déclassés:

1. Bâtiments de ligne.

Les mesures suivantes devront être prises:

(1) enlèvement des canons de l'artillerie principale, des parties tournantes de toutes les tourelles barbottes et fermées, et de la machinerie qui les actionne, mais trois tourelles avec leur armement pourront être conservées sur chaque bâtiment;

(2) enlèvement de toutes les munitions et explosifs dépassant la quantité nécessaire pour les écoles à feu des canons conservés à bord;

(3) enlèvement du blockhaus et de la cuirasse de flanc entre les tourelles extrême-avant et extrême-arrière;

(4) enlèvement ou mise définitive hors d'usage de tous les tubes lance-torpilles;

(5) enlèvement ou mise définitive hors d'usage à bord du nombre de

(e) On retaining a vessel for experimental purposes the High Contracting Party concerned undertakes not to recondition it for warlike service.

Section V.—Vessels retained for training purposes.

(a) In addition to the rights already possessed by any High Contracting Party under the Washington Treaty, each High Contracting Party is permitted to retain for training purposes exclusively the following vessels:

United States: 1 capital ship ("Arkansas" or "Wyoming");
France: 2 surface vessels, one of which may exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement;
United Kingdom: 1 capital ship ("Iron Duke");
Italy: 2 surface vessels, one of which may exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement;
Japan: 1 capital ship ("Hiyei"), 3 cruisers ("Kuma" class).

(b) Vessels retained for training purposes under the provisions of paragraph (a) shall, within six months of the date on which they are required to be disposed of, be dealt with as follows:

1. Capital Ships.

The following is to be carried out:

(1) removal of main armament guns, revolving parts of all barbottes and turrets; machinery for operating turrets; but three turrets with their armament may be retained in each ship;

(2) removal of all ammunition and explosives in excess of the quantity required for target practice training for the guns remaining on board;

(3) removal of conning tower and the side armour belt between the foremost and aftermost barbottes;

(4) removal or mutilation of all torpedo tubes;

(5) removal or mutilation on board of all boilers in excess of the

lorsqu'on aura enlevé et mis à terre ou détruit à bord :

- (1) tous les canons et parties essentielles de canons, les hunes de direction de tir et les parties tournantes des tourelles barbettes et fermées;
- (2) toute la machinerie hydraulique ou électrique de manœuvre des tourelles;
- (3) tous les instruments et les télémètres de direction de tir;
- (4) toutes les munitions, les explosifs, les mines et les rails pour mines;
- (5) toutes les torpilles, les cônes de charge, les tubes lance-torpilles et les circulaires de pointage;
- (6) toutes les installations de télégraphie sans fil;
- (7) tout l'appareil moteur principal ou, si l'on préfère, le blockhaus blindé et toute la cuirasse de flanc;
- (8) toutes les grues, mâts de charge, ascenseurs et appareils de lancement pour aéronefs. Tous les ponts et plateformes d'atterrissage ou d'envol, ou, si l'on préfère, tout l'appareil moteur principal;
- (9) en outre, dans le cas des sous-marins, toutes batteries principales d'accumulateurs, compresseurs d'air avec leurs installations et pompes de ballast.

(c) La destruction devra être définitivement effectuée de l'une ou l'autre des manières suivantes dans les douze mois qui suivront la date à laquelle le travail nécessaire pour mettre le bâtiment hors d'état de remplir un service de combat doit être terminé :

- (1) submersion du bâtiment sans possibilité de renflouement;
- (2) démolition; cette opération devra toujours comprendre la destruction ou l'enlèvement de toutes machines, chaudières, cuirasses, ainsi que de tout le bordé de pont, de flanc et de fond.

Section II.—Bâtiments à transformer en pontons.

Un bâtiment à déclasser par transformation en ponton devra être considéré comme définitivement déclassé quand les conditions prescrites à la Section I, paragraphe (b), auront été remplies, sauf celles qui sont énoncées dans les sous-paragraphe (6), (7) et (8), et

removed and landed or else destroyed in the ship :

- (1) all guns and essential parts of guns, fire control tops and revolving parts of all barbetstes and turrets;
- (2) all hydraulic or electric machinery for operating turrets;
- (3) all fire control instruments and rangefinders;
- (4) all ammunition, explosives, mines and mine rails;
- (5) all torpedoes, war heads, torpedo tubes and training racks;
- (6) all wireless telegraphy installations;
- (7) all main propelling machinery, or alternatively the armoured conning tower and all side armour plate;
- (8) all aircraft cranes, derricks, lifts and launching apparatus. All landing-on or flying-off platforms and decks, or alternatively all main propelling machinery;
- (9) in addition, in the case of submarines, all main storage batteries, air compressor plants and ballast pumps.

(c) Scrapping shall be finally effected in either of the following ways within twelve months of the date on which the work of rendering the vessel incapable of warlike service is due for completion :

- (1) permanent sinking of the vessel;
- (2) breaking the vessel up; this shall always include the destruction or removal of all machinery, boilers and armour, and all deck, side and bottom plating.

Section II.—Vessels to be converted to hulks.

A vessel to be disposed of by conversion to a hulk shall be considered finally disposed of when the conditions prescribed in Section I, paragraph (b), have been complied with, omitting sub-paragraphs (6), (7) and (8), and when the following have been effected :

quand les opérations suivantes auront été effectuées :

- (1) mise hors d'usage définitive de tous les arbres porto-hélices, paliers de butée, réducteurs de turbines ou moteurs de propulsion principaux et turbines ou cylindres des machines principales;
- (2) enlèvement des chaises d'hélices;
- (3) enlèvement et démolition de tous ascenseurs pour aéronefs et enlèvement de toutes grues, mâts de charge et appareils de lancement pour aéronefs.

Le bâtiment devra être mis dans l'état ci-dessus dans les mêmes limites de temps que celles qui sont prévues à la Section I pour mettre un bâtiment hors d'état de remplir un service de combat.

Section III.—Bâtiments à transformer pour servir de cibles.

(a) Un bâtiment à déclasser par transformation pour l'usage exclusif de cible sera considéré comme hors d'état de remplir un service de combat quand on aura enlevé et mis à terre, ou détruit à bord du navire :

- (1) tous les canons;
- (2) toutes les hunes de direction de tir, les instruments et les principaux câbles des transmissions de direction de tir;
- (3) toute la machinerie qui sert à actionner les affûts ou les tourelles;
- (4) toutes les munitions, les explosifs, les mines, les torpilles et tubes lance-torpilles;
- (5) toutes les installations d'aviation et leurs accessoires de toutes sortes.

Le bâtiment devra être mis dans l'état ci-dessus dans les mêmes limites de temps que celles qui sont prévues à la Section I pour mettre un bâtiment hors d'état de remplir un service de combat.

(b) En plus des droits qu'elle possède en vertu du Traité de Washington, chacune des Hautes Parties Contractantes est autorisée à conserver simultanément pour les utiliser exclusivement comme cibles :

- (1) au plus trois bâtiments (croiseurs ou destroyers),

(1) mutilation beyond repair of all propeller shafts, thrust blocks, turbine gearing or main propelling motors, and turbines or cylinders of main engines;

(2) removal of propeller brackets;

(3) removal and breaking up of all aircraft lifts, and the removal of all aircraft cranes, derricks and launching apparatus.

The vessel must be put in the above condition within the same limits of time as provided in Section I for rendering a vessel incapable of warlike service.

Section III.—Vessels to be converted to target use.

(a) A vessel to be disposed of by conversion to target use exclusively shall be considered incapable of warlike service when there have been removed and landed, or rendered unseaworthy on board, the following :

- (1) all guns;
- (2) all fire control tops and instruments and main fire control communication wiring;
- (3) all machinery for operating gun mountings or turrets;
- (4) all ammunition, explosives, mines, torpedoes and torpedo tubes;
- (5) all aviation facilities and accessories.

The vessel must be put into the above condition within the same limits of time as provided in Section I for rendering a vessel incapable of warlike service.

(b) In addition to the rights already possessed by each High Contracting Party under the Washington Treaty, each High Contracting Party is permitted to retain, for target use exclusively, at any one time :

- (1) not more than three vessels (cruisers or destroyers), but

ANNEXE I.

Règles de remplacement.

Section I.—Sauf dans les cas prévus à la Section III de la présente Annexe et à la Partie III du présent Traité, un bâtiment ne doit pas être remplacé avant qu'il ne devienne "hors d'âge". Un bâtiment est considéré comme étant "hors d'âge" lorsque le nombre d'années indiqué ci-dessous s'est écoulé depuis la date de son achèvement :

(a) Bâtiment de surface de plus de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques), mais n'excédant pas 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques) de déplacement type :

- (i) s'il a été mis sur cale avant le 1er janvier 1920 : 16 ans;
(ii) s'il a été mis sur cale après le 31 décembre 1919 : 20 ans.

(b) Bâtiment de surface n'excédant pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques) de déplacement type :

- (i) s'il a été mis sur cale avant le 1er janvier 1921 : 12 ans;
(ii) s'il a été mis sur cale après le 31 décembre 1920 : 16 ans.

(c) Sous-marin : 13 ans.

Les bâtiments constituant le tonnage de remplacement ne doivent pas être mis sur cale plus de trois ans avant l'année au cours de laquelle le bâtiment à remplacer deviendra "hors d'âge"; mais ce délai est réduit à deux ans pour les bâtiments de surface de remplacement ne dépassant pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques) de déplacement type.

Le droit à remplacement n'est pas perdu du fait d'un retard dans la mise sur cale de bâtiments constituant le tonnage de remplacement.

Section II.—Sous réserve de dispositions contraires du présent Traité, le ou les bâtiments dont la conservation provoquerait un excédent par rapport au tonnage maximum autorisé pour leur classe seront, lors de l'achèvement ou de l'acquisition du ou des bâtiments constituant le tonnage de remplacement, déclassés en application des dispositions de l'Annexe II à la présente Partie II.

Section III.—Dans le cas de perte ou de destruction accidentelle, un bâtiment pourra être remplacé immédiatement.

ANNEX I.

Rules for replacement.

Section I.—Except as provided in Section III of this Annex and Part III of the present Treaty, a vessel shall not be replaced before it becomes "over-age". A vessel shall be deemed to be "over-age" when the following number of years have elapsed since the date of its completion :

(a) For a surface vessel exceeding 3,000 tons (3,048 metric tons) but not exceeding 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement :

- (i) if laid down before the 1st January, 1920 : 16 years;
(ii) if laid down after the 31st December, 1919 : 20 years.

(b) For a surface vessel not exceeding 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement :

- (i) if laid down before the 1st January, 1921 : 12 years;
(ii) if laid down after the 31st December, 1920 : 16 years.

(c) For a submarine : 13 years.

The keels of replacement tonnage shall not be laid down more than three years before the year in which the vessel to be replaced becomes "over-age"; but this period is reduced to two years in the case of any replacement surface vessel not exceeding 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement.

The right of replacement is not lost by delay in laying down replacement tonnage.

Section II.—Except as otherwise provided in the present Treaty, the vessel or vessels, whose retention would cause the maximum tonnage permitted in the category to be exceeded, shall, on the completion or acquisition of replacement tonnage, be disposed of in accordance with Annex II to this Part II.

Section III.—In the event of loss or accidental destruction a vessel may be immediately replaced.

ANNEXE II.

Règles de déclassement des Bâtiments de Guerre.

Le présent Traité prévoit pour le déclassement des bâtiments de guerre les procédés suivants :

- (i) destruction (par submersion ou démolition);
(ii) transformation du bâtiment en ponton;
(iii) transformation du bâtiment pour l'usage exclusif de cible;
(iv) conservation du bâtiment pour le faire servir exclusivement à des expériences;
(v) conservation du bâtiment pour le faire servir exclusivement à l'instruction.

Tout bâtiment de guerre à déclasser, autre qu'un bâtiment de ligne, peut être soit détruit, soit transformé en ponton à la volonté de la Haute Partie Contractante intéressée.

Tout bâtiment de guerre, autre qu'un bâtiment de ligne, conservé comme cible, bâtiment d'expérience ou bâtiment d'instruction, doit finalement être détruit ou transformé en ponton.

Section I.—Bâtiments à détruire.

(a) Un bâtiment à détruire en raison de son remplacement devra être mis hors d'état de remplir un service de combat dans les six mois qui suivront la date d'achèvement du bâtiment de remplacement, ou du premier des bâtiments de remplacement, s'il doit être remplacé par plus d'un bâtiment. Si, cependant, l'achèvement du nouveau ou des nouveaux bâtiments est retardé, les opérations nécessaires pour mettre le vieux bâtiment hors d'état de remplir un service de combat devront néanmoins être terminées dans les quatre ans et demi qui suivront la date de la mise sur cale du nouveau bâtiment ou du premier des nouveaux bâtiments; mais, si le nouveau ou l'un des nouveaux bâtiments est un bâtiment de surface dont le déplacement type ne dépasse pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques), ce délai sera réduit à trois ans et demi.

(b) Un bâtiment à détruire devra être considéré comme hors d'état de remplir un service de combat

ANNEX II.

Rules for disposal of Vessels of War.

The present Treaty provides for the disposal of vessels of war in the following ways :

- (i) by scrapping (sinking or breaking up);
(ii) by converting the vessel to a hulk;
(iii) by converting the vessel to target use exclusively;
(iv) by retaining the vessel exclusively for experimental purposes;
(v) by retaining the vessel exclusively for training purposes.

Any vessel of war to be disposed of, other than a capital ship, may either be scrapped or converted to a hulk at the option of the High Contracting Party concerned.

Vessels, other than capital ships, which have been retained for target, experimental or training purposes, shall finally be scrapped or converted to hulks.

Section I.—Vessels to be scrapped.

(a) A vessel to be disposed of by scrapping, by reason of its replacement, must be rendered incapable of warlike service within six months of the date of the completion of its successor, or of the first of its successors if there are more than one. If, however, the completion of the new vessel or vessels be delayed, the work of rendering the old vessel incapable of warlike service shall, nevertheless, be completed within four and a half years from the date of laying the keel of the new vessel, or of the first of the new vessels; but should the new vessel, or any of the new vessels, be a surface vessel not exceeding 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement, this period is reduced to three and a half years.

(b) A vessel to be scrapped shall be considered incapable of warlike service when there shall have been

(b) la date d'achèvement ainsi que les indications qui précèdent, relatives au bâtiment à cette date.

Les renseignements à fournir pour les bâtiments de ligne et les porte-aéronefs sont régis par le Traité de Washington.

ARTICLE 11.

Sous réserve des dispositions de l'Article 2 du présent Traité, les règles de déclassement contenues dans l'Annexe II à la présente Partie II s'appliqueront à tous les bâtiments de guerre à déclasser en vertu dudit Traité, ainsi qu'aux porte-aéronefs définis à l'Article 3.

ARTICLE 12.

1. Sous réserve de tous accords supplémentaires qui pourraient modifier entre les Hautes Parties Contractantes intéressées les listes figurant à l'Annexe III à la présente Partie II, les bâtiments spéciaux indiqués à ladite Annexe pourront être conservés et leur tonnage ne sera pas compris dans le tonnage limitable.

2. Tout autre bâtiment construit, transformé ou acquis pour les fins en vue desquelles les bâtiments spéciaux sont conservés sera imputé sur le tonnage de la classe combattante appropriée, suivant les caractéristiques du bâtiment, à moins que celui-ci ne soit conforme aux caractéristiques des bâtiments non sujets à limitation en vertu de l'Article 8.

3. Le Japon peut toutefois remplacer les mouilleurs de mines "Aso" et "Tokiwa" par deux nouveaux mouilleurs

(b) the date of completion together with the foregoing particulars relating to the vessel at that date.

The information to be given in the case of capital ships and aircraft carriers is governed by the Washington Treaty.

ARTICLE 11.

Subject to the provisions of Article 2 of the present Treaty, the rules for disposal contained in Annex II to this Part II shall be applied to all vessels of war to be disposed of under the said Treaty, and to aircraft carriers as defined in Article 3.

ARTICLE 12.

1. Subject to any supplementary agreements which may modify, as between the High Contracting Parties concerned, the lists in Annex III to this Part II, the special vessels shown therein may be retained and their tonnage shall not be included in the tonnage subject to limitation.

2. Any other vessel constructed, adapted or acquired to serve the purposes for which these special vessels are retained shall be charged against the tonnage of the appropriate combatant category, according to the characteristics of the vessel, unless such vessel conforms to the characteristics of vessels exempt from limitation under Article 8.

3. Japan may, however, replace the minelayers "Aso" and "Tokiwa" by two new minelayers before the 31st December,

de mines avant le 31 décembre 1936. Le déplacement type des nouveaux bâtiments n'excédera pas 5.000 tonnes (5.080 tonnes métriques); leur vitesse ne sera pas supérieure à vingt nœuds, et leurs autres caractéristiques seront conformes à celles qui sont définies au paragraphe (b) de l'Article 8. Les nouveaux bâtiments seront considérés comme des bâtiments spéciaux et leur tonnage ne sera compris dans le tonnage d'aucune des catégories combattantes. L'"Aso" et le "Tokiwa" seront déclassés, conformément à la Section I ou à la Section II de l'Annexe II à la présente Partie II, lors de l'achèvement des bâtiments de remplacement.

4. Les bâtiments "Asama", "Yakumo", "Izumo", "Iwate" et "Kasuga" seront déclassés conformément à la Section I ou à la Section II de l'Annexe II à la présente Partie II, quand les trois premiers bâtiments du type "Kuma" auront été remplacés par des bâtiments nouveaux. Ces trois bâtiments du type "Kuma" seront mis dans l'état prescrit au sous-paragraphe (b) 2 de la Section V de l'Annexe II à la présente Partie II; ils seront employés comme bâtiments-écoles et, dans la suite, leur tonnage ne sera pas compris dans le tonnage limitable.

ARTICLE 13.

Les bâtiments existants de différents types qui, avant le 1er avril 1930, étaient utilisés comme établissements fixes d'instruction ou comme pontons peuvent être conservés dans un état qui ne leur permette pas de prendre la mer.

1936. The standard displacement of each of the new vessels shall not exceed 5,000 tons (5,080 metric tons); their speed shall not exceed twenty knots, and their other characteristics shall conform to the provisions of paragraph (b) of Article 8. The new vessels shall be regarded as special vessels and their tonnage shall not be chargeable to the tonnage of any combatant category. The "Aso" and "Tokiwa" shall be disposed of in accordance with Section I or II of Annex II to this Part II, on completion of the replacement vessels.

4. The "Asama", "Yakumo", "Izumo", "Iwate" and "Kasuga" shall be disposed of in accordance with Section I or II of Annex II to this Part II when the first three vessels of the "Kuma" class have been replaced by new vessels. These three vessels of the "Kuma" class shall be reduced to the condition prescribed in Section V, sub-paragraph (b) 2 of Annex II to this Part II, and are to be used for training ships, and their tonnage shall not thereafter be included in the tonnage subject to limitation.

ARTICLE 13.

Existing ships of various types, which, prior to the 1st April, 1930, have been used as stationary training establishments or hulks, may be retained in a non-seagoing condition.

tonnes métriques), mais ne dépasse pas 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques), à condition qu'ils n'aient aucune des caractéristiques suivantes :

- (1) être armé d'une pièce d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces);
- (2) être armé de plus de quatre pièces d'un calibre supérieur à 76 millimètres (3 pouces);
- (3) être conçu ou équipé pour lancer des torpilles;
- (4) être conçu pour une vitesse supérieure à vingt nœuds.

(c) les bâtiments de surface de la flotte militaire qui, n'étant pas spécifiquement construits comme navires combattants, sont utilisés pour le service de la flotte, ou comme transports de troupes, ou pour tout emploi autre que celui de navire combattant, à condition qu'ils n'aient aucune des caractéristiques suivantes :

- (1) être armé d'une pièce d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces);
- (2) être armé de plus de quatre pièces d'un calibre supérieur à 76 millimètres (3 pouces);
- (3) être conçu ou équipé pour lancer des torpilles;
- (4) être conçu pour une vitesse supérieure à vingt nœuds;
- (5) être protégé par des plaques de blindage;
- (6) être conçu ou équipé pour mouiller des mines;
- (7) être équipé pour l'atterrissage d'aéronefs à bord;
- (8) avoir à bord plus d'un appareil pour lancer des aéronefs, si cet appareil est placé dans l'axe du bâtiment, ou plus de deux, si ces appareils sont placés un de chaque bord;

standard displacement, provided they have none of the following characteristics :

- (1) mount a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre;
- (2) mount more than four guns above 3-inch (76 mm.) calibre;
- (3) are designed or fitted to launch torpedoes;
- (4) are designed for a speed greater than twenty knots.

(c) naval surface vessels not specifically built as fighting ships which are employed on fleet duties or as troop transports or in some other way than as fighting ships, provided they have none of the following characteristics :

- (1) mount a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre;
- (2) mount more than four guns above 3-inch (76 mm.) calibre;
- (3) are designed or fitted to launch torpedoes;
- (4) are designed for a speed greater than twenty knots;
- (5) are protected by armour plate;
- (6) are designed or fitted to launch mines;
- (7) are fitted to receive aircraft on board from the air;
- (8) mount more than one aircraft-launching apparatus on the centre line; or two, one on each broadside;

(9) étant équipé d'un moyen quelconque de lancement des aéronefs dans l'air, être conçu ou aménagé pour mettre en action en mer plus de trois aéronefs.

(9) if fitted with any means of launching aircraft into the air, are designed or adapted to operate at sea more than three aircraft.

ARTICLE 9.

Les règles de remplacement énoncées à l'Annexe I de la présente Partie II sont applicables aux bâtiments de guerre dont le déplacement type ne dépasse pas 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques). Il est fait exception pour les porte-aéronefs, leur remplacement étant régi par le Traité de Washington.

ARTICLE 9.

The rules as to replacement contained in Annex I to this Part II are applicable to vessels of war not exceeding 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement, with the exception of aircraft carriers, whose replacement is governed by the provisions of the Washington Treaty.

ARTICLE 10.

Dans le mois qui suivra respectivement la date de mise sur cale et la date d'achèvement, les Hautes Parties Contractantes se communiqueront mutuellement tous les renseignements indiqués ci-dessous au sujet de tous bâtiments de guerre mis sur cale ou achevés par elles ou pour elles après l'entrée en vigueur du présent Traité, à l'exception des bâtiments de ligne, des porte-aéronefs et des bâtiments qui sont exempts de limitation conformément à l'Article 8 :

ARTICLE 10.

Within one month after the date of laying down and the date of completion respectively of each vessel of war, other than capital ships, aircraft carriers and the vessels exempt from limitation under Article 8, laid down or completed by or for them after the coming into force of the present Treaty, the High Contracting Parties shall communicate to each of the other High Contracting Parties the information detailed below :

- (a) la date de la mise sur cale avec les indications suivantes :
 - classification du bâtiment;
 - déplacement type en tonnes et en tonnes métriques;
 - dimensions principales, à savoir : longueur à la ligne de flottaison, largeur maxima à ou sous la ligne de flottaison;
 - tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type;
 - calibre du plus gros canon.

- (a) the date of laying the keel and the following particulars :
 - classification of the vessel;
 - standard displacement in tons and metric tons;
 - principal dimensions, namely : length at water-line, extreme beam at or below water-line;
 - mean draft at standard displacement;
 - calibre of the largest gun.

PARTIE II.

ARTICLE 6.

1. Les règles énoncées au Chapitre II, Partie 4 du Traité de Washington pour la détermination du déplacement type s'appliqueront à tous les bâtiments de guerre de surface de chacune des Hautes Parties Contractantes.

2. Le déplacement type d'un sous-marin est le déplacement en surface du bâtiment achevé (non compris l'eau des compartiments non étanches) avec son équipage complet, son appareil moteur, prêt à prendre la mer, ayant tout son armement et toutes ses munitions, ses installations, équipements, vivres pour l'équipage, outillages divers et rechanges de toute nature qu'il doit emporter en temps de guerre, mais sans combustible, huile lubrifiante, eau douce ou eau de ballast de toute sorte.

3. Le déplacement de chaque bâtiment combattant de la flotte militaire est évalué lorsque ce bâtiment se trouve dans les conditions type. Le mot "tonne", sauf dans l'expression "tonnes métriques", désigne une tonne de 1.016 kilogrammes (2.240 lbs.).

ARTICLE 7.

1. Aucun sous-marin de déplacement type supérieur à 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques) ou armé d'un canon d'un calibre supérieur à 180 millimètres (5,1 pouces) ne sera acquis par l'une des Hautes Parties Contractantes ou construit par elle ou pour elle.

2. Chacune des Hautes Parties Contractantes peut, toutefois, conserver, construire ou acquérir un nombre maximum de trois

PART II.

ARTICLE 6.

1. The rules for determining standard displacement prescribed in Chapter II, Part 4 of the Washington Treaty shall apply to all surface vessels of war of each of the High Contracting Parties.

2. The standard displacement of a submarine is the surface displacement of the vessel complete (exclusive of the water in non-watertight structure) fully manned, engaged, and equipped ready for sea, including all armament and ammunition, equipment, outfit, provisions for crew, miscellaneous stores, and implements of every description that are intended to be carried in war, but without fuel, lubricating oil, fresh water or ballast water of any kind on board.

3. Each naval combatant vessel shall be rated at its displacement tonnage when in the standard condition. The word "ton", except in the expression "metric tons", shall be understood to be the ton of 2,240 pounds (1,016 kilos.).

ARTICLE 7.

1. No submarine the standard displacement of which exceeds 2,000 tons (2,032 metric tons) or with a gun above 5.1-inch (130 mm.) calibre shall be acquired by or constructed by or for any of the High Contracting Parties.

2. Each of the High Contracting Parties may, however, retain, build or acquire a maximum number of three submarines of

sous-marins d'un déplacement type n'excédant pas 2.800 tonnes (2.845 tonnes métriques); ces sous-marins peuvent porter une artillerie d'un calibre ne dépassant pas 155 millimètres (6,1 pouces). Dans ce nombre, la France peut conserver une unité déjà lancée de 2.880 tonnes (2.926 tonnes métriques) portant une artillerie d'un calibre de 203 millimètres (8 pouces).

3. Les Hautes Parties Contractantes peuvent conserver les sous-marins qu'elles possédaient au 1er avril 1930, dont le déplacement type n'excède pas 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques) et dont le calibre de l'artillerie dépasse 180 millimètres (5,1 pouces).

4. A partir de l'entrée en vigueur du présent Traité pour toutes les Hautes Parties Contractantes, aucun sous-marin de déplacement type supérieur à 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques) ou armé d'un canon d'un calibre supérieur à 180 millimètres (5,1 pouces) ne sera construit dans la juridiction de l'une des Hautes Parties Contractantes, sous réserve des dispositions du paragraphe 2 du présent Article.

ARTICLE 8.

Sous réserve d'accords spéciaux qui les soumettraient à une limitation, les bâtiments ci-après n'y sont pas sujets :

(a) les bâtiments combattants de surface de la flotte militaire dont le déplacement type est égal ou inférieur à 600 tonnes (610 tonnes métriques);

(b) les bâtiments combattants de surface de la flotte militaire dont le déplacement type dépasse 600 tonnes (610

a standard displacement not exceeding 2,800 tons (2,845 metric tons); these submarines may carry guns not above 6.1-inch (155 mm.) calibre. Within this number, France may retain one unit, already launched, of 2,880 tons (2,926 metric tons), with guns the calibre of which is 8 inches (203 mm.).

3. The High Contracting Parties may retain the submarines which they possessed on the 1st April, 1930, having a standard displacement not in excess of 2,000 tons (2,032 metric tons) and armed with guns above 5.1-inch (130 mm.) calibre.

4. As from the coming into force of the present Treaty in respect of all the High Contracting Parties, no submarine the standard displacement of which exceeds 2,000 tons (2,032 metric tons) or with a gun above 5.1-inch (130 mm.) calibre shall be constructed within the jurisdiction of any of the High Contracting Parties, except as provided in paragraph 2 of this Article.

ARTICLE 8.

Subject to any special agreements which may submit them to limitation, the following vessels are exempt from limitation :

(a) naval surface combatant vessels of 600 tons (610 metric tons) standard displacement and under;

(b) naval surface combatant vessels exceeding 600 tons (610 metric tons), but not exceeding 2,000 tons (2,032 metric tons)

à l'Article 1 du présent Traité, tous les bâtiments de ligne existants mentionnés au Chapitre II, Partie 3, Section II du Traité de Washington, et non désignés ci-dessus comme devant être déclassés, pourront être conservés pendant la durée d'application du présent Traité.

3. Le droit à remplacement n'est pas perdu du fait d'un retard dans la mise sur cale de bâtiments constituant le tonnage de remplacement, et l'ancien bâtiment peut être conservé jusqu'à remplacement, même si, aux termes du Chapitre II, Partie 3, Section II, du Traité de Washington, ce bâtiment devait être détruit.

ARTICLE 3.

1. Pour l'application du Traité de Washington, la définition du porte-aéronefs, donnée au Chapitre II, Partie 4 dudit Traité, est remplacée par la définition suivante :

L'expression "porte-aéronefs" comprend tout bâtiment de guerre de surface, quel qu'en soit le déplacement, spécifiquement et exclusivement conçu pour porter des aéronefs et construit de telle façon que des aéronefs puissent y prendre leur vol et s'y poser.

2. Le fait d'équiper d'une plateforme ou d'un pont d'envol ou d'atterrissage un bâtiment de ligne, un croiseur ou un destroyer, n'implique pas qu'un bâtiment ainsi équipé doive être compris ou classé dans la classe des porte-aéronefs, à moins que ce bâtiment ne soit conçu ou aménagé exclusivement pour servir de porte-aéronefs.

present Treaty, all existing capital ships mentioned in Chapter II, Part 3, Section II of the Washington Treaty and not designated above to be disposed of may be retained during the term of the present Treaty.

3. The right of replacement is not lost by delay in laying down replacement tonnage, and the old vessel may be retained until replaced even though due for scrapping under Chapter II, Part 3, Section II of the Washington Treaty.

ARTICLE 3.

1. For the purposes of the Washington Treaty, the definition of an aircraft carrier given in Chapter II, Part 4 of the said Treaty is hereby replaced by the following definition :

The expression "aircraft carrier" includes any surface vessel of war, whatever its displacement, designed for the specific and exclusive purpose of carrying aircraft and so constructed that aircraft can be launched therefrom and landed thereon.

2. The fitting of a landing-on or flying-off platform or deck on a capital ship, cruiser or destroyer, provided such vessel was not designed or adapted exclusively as an aircraft carrier, shall not cause any vessel so fitted to be charged against or classified in the category of aircraft carriers.

3. Aucun bâtiment de ligne existant au 1er avril 1930 ne sera équipé d'une plateforme ou d'un pont d'atterrissage.

3. No capital ship in existence on the 1st April, 1930, shall be fitted with a landing-on platform or deck.

ARTICLE 4.

1. Aucun porte-aéronefs d'un déplacement type de 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques) ou moins, et portant un canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces), ne sera acquis par l'une des Hautes Parties Contractantes ou construit par elle ou pour elle.

2. A partir de l'entrée en vigueur du présent Traité pour toutes les Hautes Parties Contractantes, aucun porte-aéronefs d'un déplacement type de 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques) ou moins, et portant un canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces) ne sera construit dans la juridiction de l'une des Hautes Parties Contractantes.

ARTICLE 5.

Le plan et la construction d'un porte-aéronefs ne doivent pas lui permettre de porter un armement plus puissant que celui qui est autorisé pour lui par l'Article IX ou l'Article X du Traité de Washington ou par l'Article 4 du présent Traité, suivant le cas.

Lorsque le calibre de 152 millimètres (6 pouces) est mentionné dans lesdits Articles IX et X, le calibre de 155 millimètres (6,1 pouces) doit lui être substitué.

ARTICLE 4.

1. No aircraft carrier of 10,000 tons (10,160 metric tons) or less standard displacement mounting a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre shall be acquired by or constructed by or for any of the High Contracting Parties.

2. As from the coming into force of the present Treaty in respect of all the High Contracting Parties, no aircraft carrier of 10,000 tons (10,160 metric tons) or less standard displacement mounting a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre shall be constructed within the jurisdiction of any of the High Contracting Parties.

ARTICLE 5.

An aircraft carrier must not be designed and constructed for carrying a more powerful armament than that authorised by Article IX or Article X of the Washington Treaty, or by Article 4 of the present Treaty, as the case may be.

Wherever in the said Articles IX and X the calibre of 6 inches (152 mm.) is mentioned, the calibre of 6.1 inches (155 mm.) is substituted therefor.

de ligne suivants, ainsi qu'il est prescrit au présent Article :

États-Unis :

" Florida " ;
" Utah " ;
" Arkansas " ou " Wyoming " ;

Royaume-Uni :

" Benbow " ;
" Iron Duke " ;
" Marlborough " ;
" Emperor of India " ;
" Tiger " ;

Japon :

" Hiyei " ;

(a) Sous réserve des dispositions du sous-paragraphe (b), ces bâtiments, à moins qu'ils ne soient transformés pour servir exclusivement de cibles, en application du Chapitre II, Partie 2, paragraphe II (c) du Traité de Washington, seront détruits de la manière suivante :

L'un des bâtiments qui doivent être détruits par les États-Unis, et deux de ceux qui doivent l'être par le Royaume-Uni seront mis hors d'état de remplir un service de combat conformément au Chapitre II, Partie 2, paragraphe III (b) du Traité de Washington, dans les douze mois qui suivront l'entrée en vigueur du présent Traité. Ces bâtiments seront définitivement détruits, conformément au paragraphe II (a) ou (b) de la même Partie 2, dans les vingt-quatre mois qui suivront ladite entrée en vigueur. A l'égard du deuxième bâtiment qui sera détruit par les États-Unis et des troisième et quatrième bâtiments qui le seront par le Royaume-Uni, les susdits délais

following capital ships as provided in this Article :

United States :

" Florida " ;
" Utah " ;
" Arkansas " or " Wyoming " ;

United Kingdom :

" Benbow " ;
" Iron Duke " ;
" Marlborough " ;
" Emperor of India " ;
" Tiger " ;

Japan :

" Hiyei " ;

(a) Subject to the provisions of sub-paragraph (b), the above ships; unless converted to target use exclusively in accordance with Chapter II, Part 2, paragraph II (c) of the Washington Treaty, shall be scrapped in the following manner :

One of the ships to be scrapped by the United States, and two of those to be scrapped by the United Kingdom shall be rendered unfit for warlike service, in accordance with Chapter II, Part 2, paragraph III (b) of the Washington Treaty, within twelve months from the coming into force of the present Treaty. These ships shall be finally scrapped, in accordance with paragraph II (a) or (b) of the said Part 2, within twenty-four months from the said coming into force. In the case of the second of the ships to be scrapped by the United States, and of the third and fourth of the ships to be scrapped by the United Kingdom, the said periods shall be eighteen and

seront de dix-huit et de trente mois, respectivement, à compter de l'entrée en vigueur du présent Traité.

(b) Parmi les bâtiments à déclasser conformément au présent Article, les suivants pourront être conservés pour servir à l'instruction :

par les États-Unis : " Arkansas " ou " Wyoming " ;

par le Royaume-Uni : " Iron Duke " ;

Par le Japon : " Hiyei " ;

Ces navires seront mis dans l'état prescrit à la Section V de l'Annexe II à la Partie II du présent Traité. Les travaux nécessaires pour mettre ces bâtiments dans cet état commenceront, en ce qui concerne les États-Unis et le Royaume-Uni, dans les douze mois à compter de l'entrée en vigueur du présent Traité, et, en ce qui concerne le Japon, dans les dix-huit mois à compter de la même date; les travaux seront terminés dans les six mois qui suivront l'expiration des délais mentionnés ci-dessus.

Ceux de ces bâtiments qui ne sont pas conservés pour servir à l'instruction seront, dans les dix-huit mois, mis hors d'état de remplir un service de combat, et définitivement détruits dans les trente mois à compter de l'entrée en vigueur du présent Traité.

2. Sous réserve de tout déclassement de bâtiments de ligne que pourrait rendre nécessaire, conformément au Traité de Washington, la construction par la France et l'Italie du tonnage de remplacement visé

thirty months respectively from the coming into force of the present Treaty.

(b) Of the ships to be disposed of under this Article, the following may be retained for training purposes :

by the United States : " Arkansas " or " Wyoming " ;

by the United Kingdom :

by Japan : " Hiyei " ;

These ships shall be reduced to the condition prescribed in Section V of Annex II to Part II of the present Treaty. The work of reducing these vessels to the required condition shall begin, in the case of the United States and the United Kingdom, within twelve months, and in the case of Japan within eighteen months from the coming into force of the present Treaty; the work shall be completed within six months of the expiration of the above-mentioned periods.

Any of these ships which are not retained for training purposes shall be rendered unfit for warlike service within eighteen months, and finally scrapped within thirty months, of the coming into force of the present Treaty.

2. Subject to any disposal of capital ships which might be necessitated, in accordance with the Washington Treaty, by the building by France or Italy of the replacement tonnage referred to in Article 1 of the

pour l'État Libre d'Irlande :
M. Timothy Aloysius Smiddy,
Haut-Commissaire de l'État
Libre d'Irlande à Londres;

pour l'Inde :
Sir Atul Chandra Chatterjee,
K.C.I.E., Haut-Commis-
saire de l'Inde à Londres;

Sa Majesté le Roi d'Italie :
L'Honorable Dino Grandi,
Député, Son Ministre Sec-
rétaire d'État pour les
Affaires Étrangères;

L'Amiral de Division Hono-
rable Giuseppe Sirianni,
Sénateur du Royaume, Son
Ministre Secrétaire d'État
pour la Marine;

M. Antonio Chiamonte-Bor-
donaro, Son Ambassadeur
Extraordinaire et Plénipo-
tentiaire près la Cour de
St. James;

L'Amiral Honorable Baron
Afredo Acton, Sénateur du
Royaume;

Sa Majesté l'Empereur du
Japon :

M. Reijiro Wakatsuki, Mem-
bre de la Chambre des
Pairs;

L'Amiral Takeshi Takarabe,
Ministre de la Marine;

M. Tsuneo Matsudaira, Son
Ambassadeur Extraordinaire
et Plénipotentiaire près la
Cour de St. James;

for the Irish Free State :
Timothy Aloysius Smiddy,
Esquire, High Commis-
sioner for the Irish Free
State in London;

for India :
Sir Atul Chandra Chatterjee,
K.C.I.E., High Commis-
sioner for India in London;

His Majesty the King of Italy :
The Honourable Dino Grandi,
Deputy, His Minister Sec-
retary of State for Foreign
Affairs;

Admiral of Division The
Honourable Giuseppe
Sirianni, Senator of the
Kingdom, His Minister
Secretary of State for
Marine;

Mr. Antonio Chiamonte-
Bordonaro, His Ambassador
Extraordinary and Pleni-
potentiary at the Court of
St. James;

Admiral The Honourable Baron
Afredo Acton, Senator of
the Kingdom;

His Majesty the Emperor of
Japan :

Mr. Reijiro Wakatsuki, Mem-
ber of the House of Peers;

Admiral Takeshi Takarabe,
Minister for the Navy;

Mr. Tsuneo Matsudaira, His
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary at the
Court of St. James;

M. Matsuzo Nagai, Son Am-
bassadeur Extraordinaire et
Plénipotentiaire près Sa
Majesté le Roi des Belges;

Lesquels, après s'être com-
munié leurs pleins pouvoirs,
reconnus en bonne et due forme,
sont convenus des dispositions
suivantes :

PARTIE I.

ARTICLE 1.

Les Hautes Parties Con-
tractantes conviennent de ne pas
exercer, de 1931 à 1936 inclusive-
ment, leur droit de mettre sur
cale des bâtiments de ligne de
remplacement, prévu au Cha-
pitre II, Partie 3 du Traité pour
la Limitation des Armements
navals, signé entre elles à Wa-
shington le 6 février 1922 et
désigné dans le présent Traité
sous le nom de Traité de
Washington.

Cette disposition n'affecte pas
l'application de la clause rela-
tive au remplacement des bâti-
ments perdus ou détruits acci-
dentellement, énoncée au
Chapitre II, Partie 3, Section I,
paragraphe (c) dudit Traité.

La France et l'Italie pourront
cependant construire le tonnage
de remplacement qu'elles étaient
autorisées à mettre sur cale en
1927 et en 1929, conformément
aux dispositions dudit Traité.

ARTICLE 2.

1. Les États-Unis, le
Royaume-Uni de Grande Bre-
tagne et d'Irlande du Nord et le
Japon déclasseront les bâtiments

Mr. Matsuzo Nagai, His Am-
bassador Extraordinary and
Plenipotentiary to His
Majesty the King of the
Belgians;

Who, having communicated to
one another their full powers,
found in good and due form,
have agreed as follows :

PART I.

ARTICLE 1.

The High Contracting Parties
agree not to exercise their rights
to lay down the keels of capital
ship replacement tonnage
during the years 1931-1936
inclusive as provided in Chapter
II, Part 3 of the Treaty for the
Limitation of Naval Armament
signed between them at
Washington on the 6th February,
1922, and referred to in the
present Treaty as the Washing-
ton Treaty.

This provision is without pre-
judice to the disposition relating
to the replacement of ships
accidentally lost or destroyed
contained in Chapter II, Part 3,
Section I, paragraph (c) of the
said Treaty.

France and Italy may, how-
ever, build the replacement ton-
nage which they were entitled
to lay down in 1927 and 1929 in
accordance with the provisions of
the said Treaty.

ARTICLE 2.

1. The United States, the
United Kingdom of Great
Britain and Northern Ireland
and Japan shall dispose of the

Joseph T. Robinson, Sénator de l'État d'Arkansas;	Joseph T. Robinson, Senator from the State of Arkansas;
David A. Reed, Sénator de l'État de Pennsylvanie;	David A. Reed, Senator from the State of Pennsylvania;
Hugh Gibson, Ambassadeur en Belgique;	Hugh Gibson, Ambassador to Belgium;
Dwight W. Morrow, Ambassadeur au Mexique;	Dwight W. Morrow, Ambassador to Mexico;
Le Président de la République Française :	The President of the French Republic :
M. André Tardieu, Député, Président du Conseil des Ministres, Ministre de l'Intérieur;	Mr. André Tardieu, Deputy, President of the Council of Ministers, Minister of the Interior;
M. Aristide Briand, Député, Ministre des Affaires Étrangères;	Mr. Aristide Briand, Deputy, Minister for Foreign Affairs;
M. Jacques-Louis Dumesnil, Député, Ministre de la Marine;	Mr. Jacques-Louis Dumesnil, Deputy, Minister of Marine;
M. François Piétri, Député, Ministre des Colonies;	Mr. François Piétri, Deputy, Minister of the Colonies;
M. Aimé-Joseph de Fleuriau, Ambassadeur de la République Française près la Cour de St. James;	Mr. Aimé-Joseph de Fleuriau, Ambassador of the French Republic at the Court of St. James;
Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au delà des Mers, Empereur des Indes :	His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India :
pour la Grande-Bretagne et l'Irlande du Nord et toutes les parties de l'Empire Britannique qui ne sont pas individuellement Membres de la Société des Nations ;	for Great Britain and Northern Ireland and all parts of the British Empire which are not separate Members of the League of Nations :
Le Très-Honorable James Ramsay MacDonald, M.P., Premier Lord de Sa Trésorerie et Premier Ministre ;	The Right Honourable James Ramsay MacDonald, M.P., First Lord of His Treasury and Prime Minister ;

Le Très-Honorable Arthur Henderson, M.P., Son Principal Secrétaire d'État pour les Affaires Étrangères;	The Right Honourable Arthur Henderson, M.P., His Principal Secretary of State for Foreign Affairs;
Le Très-Honorable Albert Victor Alexander, M.P., Premier Lord de Son Amirauté;	The Right Honourable Albert Victor Alexander, M.P., First Lord of His Admiralty;
Le Très-Honorable William Wedgwood Benn, D.S.O., D.F.C., M.P.,- Son Principal Secrétaire d'État pour l'Inde;	The Right Honourable William Wedgwood Benn, D.S.O., D.F.C., M.P., His Principal Secretary of State for India;
pour le Dominion du Canada :	for the Dominion of Canada :
Le Colonel Honorable James Layton Ralston, C.M.G., D.S.O., K.C., Membre de Son Conseil Privé du Canada, Son Ministre de la Défense Nationale ;	Colonel The Honourable James Layton Ralston, C.M.G., D.S.O., K.C., a Member of His Privy Council for Canada, His Minister for National Defence ;
L'Honorable Philippe Roy, Membre de Son Conseil Privé du Canada, Son Envoyé Extraordinaire et Ministre Plénipotentiaire en France pour le Dominion du Canada ;	The Honourable Philippe Roy, a Member of His Privy Council for Canada, His Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary in France for the Dominion of Canada ;
pour le Commonwealth d'Australie :	for the Commonwealth of Australia :
L'Honorable James Edward Fenton, Son Ministre du Commerce et des Douanes ;	The Honourable James Edward Fenton, His Minister for Trade and Customs ;
pour le Dominion de la Nouvelle-Zélande :	for the Dominion of New Zealand :
M. Thomas Mason Wilford, K.C., Haut-Commissaire du Dominion de la Nouvelle-Zélande à Londres ;	Thomas Mason Wilford, Esquire, K.C., High Commissioner for the Dominion of New Zealand in London ;
pour l'Union de l'Afrique du Sud :	for the Union of South Africa :
M. Charles Theodore de Water, Haut-Commissaire de l'Union de l'Afrique du Sud à Londres ;	Charles Theodore de Water, Esquire, High Commissioner for the Union of South Africa in London ;

右條約條英文如左

Le Président des États-Unis d'Amérique, le Président de la République Française, Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au delà des Mers, Empereur des Indes, Sa Majesté le Roi d'Italie et Sa Majesté l'Empereur du Japon,

The President of the United States of America, the President of the French Republic, His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India, His Majesty the King of Italy, and His Majesty the Emperor of Japan,

Soucieux de prévenir les dangers et de réduire les charges inhérents à une rivalité d'armements,

Desiring to prevent the dangers and reduce the burdens inherent in competitive armaments, and

Désireux de faire progresser l'œuvre commencée par la Conférence Navale de Washington et de faciliter la réalisation progressive d'une limitation et d'une réduction générales des armements,

Desiring to carry forward the work begun by the Washington Naval Conference and to facilitate the progressive realization of general limitation and reduction of armaments,

Ont résolu de conclure un Traité pour la limitation et la réduction des armements navals, et ont à cet effet désigné pour leurs Plénipotentiaires:

Have resolved to conclude a Treaty for the limitation and reduction of naval armament, and have accordingly appointed as their Plenipotentiaries:

Le Président des États-Unis d'Amérique:

The President of the United States of America:

Henry L. Stimson, Secrétaire d'État;

Henry L. Stimson, Secretary of State;

Charles G. Dawes, Ambassadeur près la Cour de St. James;

Charles G. Dawes, Ambassador to the Court of St. James;

Charles Francis Adams, Secrétaire pour la Marine;

Charles Francis Adams, Secretary of the Navy;